

第2回新市建設計画策定小委員会次第

日時:平成16年4月22日(木)
午後3時から午後5時まで
場所:長岡市役所大会議室

- 1 開 会
- 2 委員の変更について……………資料1
- 3 新市建設計画書について……………資料2
- 4 将来構想実現に向けての新市の施策について
- 5 その他
現在の作業状況と今後の予定
- 6 閉 会

新市建設計画策定小委員会委員名簿

平成16年4月1日現在

	区分	役職名	氏名	備考
長岡市	行政	長岡市助役	二澤和夫	副委員長
	議会	長岡市議会 市町村合併調査研究委員会委員長	大地正幸	
中之島町	行政	中之島町助役	佐々木保男	
	議会	中之島町議会 市町村合併調査特別委員会委員長	今泉 實	
越路町	行政	越路町助役	熊倉幸男	
	議会	越路町議会 地方分権推進等調査特別委員会委員長	伊佐文也	
三島町	行政	三島町助役	米持昭次	
	議会	三島町議会 市町村合併調査特別委員会委員長	小方 保	
山古志村	行政	山古志村助役	坂牧宇一郎	
	住民代表	山古志村 夢づくり村民会議代表	高野徳義	
小国町	行政	小国町助役	五十嵐 徹	
	住民代表	小国町議会 地方分権に関する特別委員会委員長	野田 幹 男	
協議会委員		長岡造形大学理事長	豊口 協	委員長
		ホクギン経済研究所所長	鈴木隆三	
協議会委員外	学識経験者	長岡技術科学大学教授	原田秀樹	
		長岡大学助教授	鯉江康正	
		NPO法人まちづくり学校校長	小疇弘一	
		長岡地域振興事務局局長	阿部 誠 一	4月1日就任

(仮称)

ながおか地域新市建設計画(素案)

新市の地域らしさ価値を高める行動計画

第 2 回新市建設計画策定小委員会資料

平成 1 6 年 4 月 22 日

長岡地域合併協議会

あいさつ

長岡地域合併協議会会長

序章	1
1. はじめに	4
2. 計画期間	4
3. 合併の必要性(建設計画策定の課題)	5
(1) 地方自治体行政の広域的な対応の必要性	5
(2) 住民ニーズに応える財政基盤の確立に向けた改革の必要性	5
(3) 不確実性の時代といわれる今を、地域を見つめ直すチャンスの時期ととらえて	6
(4) 顧客としての住民を志向する新たな地域経営の姿を求める手段として	6
4. 建設計画策定に向けて	7
(1) 新市建設計画策定の考え方	7
(2) 策定の基本方針	8
(3) 策定における社会的視点	8
(4) 策定に向けた重要課題	8
(5) 根幹となる事業について	9
(6) 建設計画書の事業登載の考え方	10
(7) 建設計画登載事業検討作業の進め方	10
5. 建設計画書の構成	11
第1章 新市の概況からみた可能性	12
1. 新市のフレーム	12
(1) 位置・地勢	12
(2) 人口・世帯	13
(3) 人口動態の見通し	14
(4) 気象	15
(5) 面積	16
(6) 土地利用	17
(7) 都市計画区域	18
2. 新市の競争力	19
3. 新市の暮らしやすさ	21
(1) 新市の住民の、安心・安全な暮らしを支える力	21
(2) 新市の環境へのやさしさ	21
4. 新市の人を育てる力	22
(1) 住民が自ら学ぶ活動を支える力	22
(2) 高齢者が生き生きと学び、社会貢献を支える力	22
5. 新市の交流する力	23
第2章 基本方針	26
1. 新市の将来像	26
(1) 新市まちづくりの考え方	26
(2) 新市の「地域らしさ」とは	26
(3) 新市将来構想を組み立てる基本方針	27
(4) 思いをまとめた5つの切り口	28
(5) 「地域らしさ価値」の具体化方針	29
(6) 新市地域らしさ価値(ブランディング価値)	30
(7) 新市統合ビジョン～新市のスローガン	34
(8) 重点実現項目	35
(9) 各地域の活動方針と展開の例	39
(10) 地域の夢	40
(11) 新市全体での取り組み	54
第3章 新市の施策	
1. 具体的な施策	
2. 長岡地域の役割	
第4章 新市における新潟県事業と推進	
1. 新潟県の将来像、計画と新市の位置づけ	
第5章 公共施設の統合整備	
第6章 財政計画	
1. 概算事業費	
2. 財政計画	

序章

1. はじめに

長岡地域新市建設計画は、新市の地域全体の人々が新しいまちづくりにおいて共有していきたい「新市の価値＝地域らしさ価値(ブランディング価値)」を明確にすること、そして、それを高めるための活動や、活動の過程がとても大切なことであるということ、を、基本に考えていきます。

また、合併する長岡市、中之島町、越路町、三島町、山古志村、小国町(以下「6市町村」という)の特徴、そこに生活する人々の「誇り」や「願い」をできる限り反映させながら策定した「長岡地域新市将来構想」を基に、地域経営やブランド戦略といった新しい考え方も取り入れながら、新しいまちづくりを進めるための基本的な方針を定めるものです。

2. 計画期間

平成 17 年度～平成 26 年度

3. 合併の必要性(建設計画策定の課題)

- 社会的な背景と自治体に求められる役割 -

近年のモータリゼーションの進展、情報化、少子高齢化といった社会状況の変化により、日常生活圏や交流圏の広域化、ライフスタイルの多様化など、地域の人々の価値観や暮らし方は大きく変化しています。これに伴い地域の人々の地方行政に対するニーズも大きく転換していることが伺え、最も身近な行政主体である市町村の役割と責任は、今後さらに増してくると考えます。今後、住民の期待に応えていくためには、これまでの個々の市町村の行政改革などの努力だけではならず、市町村合併による対応が、住民本位のまちづくりにおいて必要不可欠であると考えます。以下より、市町村合併による効果を踏まえながら、新市の市町村合併に向けての基本的な考え方を示していきます。

(1) 地方自治体行政の広域的な対応の必要性

交通や情報通信技術の発達により、長岡地域の住民の日常社会生活圏は、現在の市町村の区域を越えて拡大しています。長岡市を中心とした13市町村(「6市町村」を含む)は、平成5年2月に東京一極集中是正の受け皿として、地方拠点都市地域の指定(地方拠点都市法)を受け、広域市町村圏として、広域消防体制整備や一部事務組合を組織化しています。さらに、地域間交流、広域観光、人材育成といったソフト事業も実施しています。

こうした背景から、今後、広域的な見地からの隣接市町村との一体的なまちづくり事業の展開、行政サービスの充実といった事業を展開していくために、一つの自治体として総合的な行政主体としての意思決定を行い、事業を展開していくことが、住民ニーズに応える最適な方法であると考えます。

(2) 住民ニーズに応える財政基盤の確立に向けた改革の必要性

地方分権の推進は、全国的に見ても実行段階に入り、地方自治体においては自己決定・自己責任の原則の下で、住民に真に求められる身近なサービス提供機関としての責任が期待されています。こうした責任ある選択による、実効力を伴った決定を積み重ねていくためには、市町村がしっかりと自立することが必要不可欠な要件となります。

市町村の自立とは、政策を立案し、これを住民にわかりやすく説明、提示し、理解を求めていく能力と同時に、自らが選択・決定する能力を持つことですが、最も重要なのは、推進していく事業を裏付ける財政基盤を持つことにあります。

一方で、わが国の財政はきわめて厳しい状況にあり、将来の世代に対しては財政改革という大きな命題を抱えているため、依存型の財政から脱却し、自立的な財政を強化することが求められています。特に小規模の市町村ほど財政力は弱く、少子・高齢化の進展の中で、基幹的なサービスですらその提供に支障をきたすことも起こりえる状況にあります。厳しい財政状況の中で、長岡地域における行政サービスの維持、向上のためには、行政の効率化を図りながら、財政基盤を強化することが最優先課題であると考えます。

(3) 不確実性の時代といわれる今を、地域を見つめ直すチャンスの時期ととらえて

地域住民の価値観や行政サービスに対するニーズの多様化により、住民満足を高めるための手法は高度化しています。また、その一方で、住民は市町村の枠を超えて自らのニーズを満たそうとすることから、都市間の競争も激しいものとなっています。

こうした課題への対応策には定型的な解決方法が無いことから、地域にはより主体的、かつ戦略的に様々な問題・課題に対処していく力量が求められています。これを具体的に実行していくためには、地方自治体が自らの地域の意味や役割を認識し、「本当に実現したいこと」「本当に大切なもの」は何かということ、住民の視点から真剣に考えていくことがとても大切になります。

新市は、このような変化の時をまちづくりのチャンスととらえて、長岡地域6市町村の広域的な役割を理解した持続力のあるまちづくりを進めていくことが大切であると考えます。

(4) 顧客としての住民を志向する新たな地域経営の姿を求める手段として

先に述べたように、合併後の新市運営の重要課題は、自らの地域の意味や役割を再認識し、住民視点で「本当に実現すべき」ことを考え、実現するための行政基盤を確固なものとする事です。市町村合併は、新市らしい地域経営のあり方を考え、実際に取り組むことのできる大きな機会であると考えます。

新しい地域経営の考え方の一つに、民間の経営手法を行政活動に応用した「ニューパブリックマネジメント(以下NPM)」という都市経営の考え方があります。これは、地方行政が企業などと同じように、経営的な見地から戦略を立て、実行することにより、個々の分野や職員のモチベーションを向上しながら、体制の基盤強化や効率化を図ろうとするものです。

新市では、このような新しい考え方も取り入れながら、持続的な競争力のあるまちづくりを目指す必要があります。そのためには、目標を決めることとその目標を達成するための方法を考え続ける体制づくり、また、小さな成功を一つずつ積み重ねていく事業の推進方策、さらには、その現場により多くの分野の人々が関わることのできるしくみづくりを進めていく必要があります。

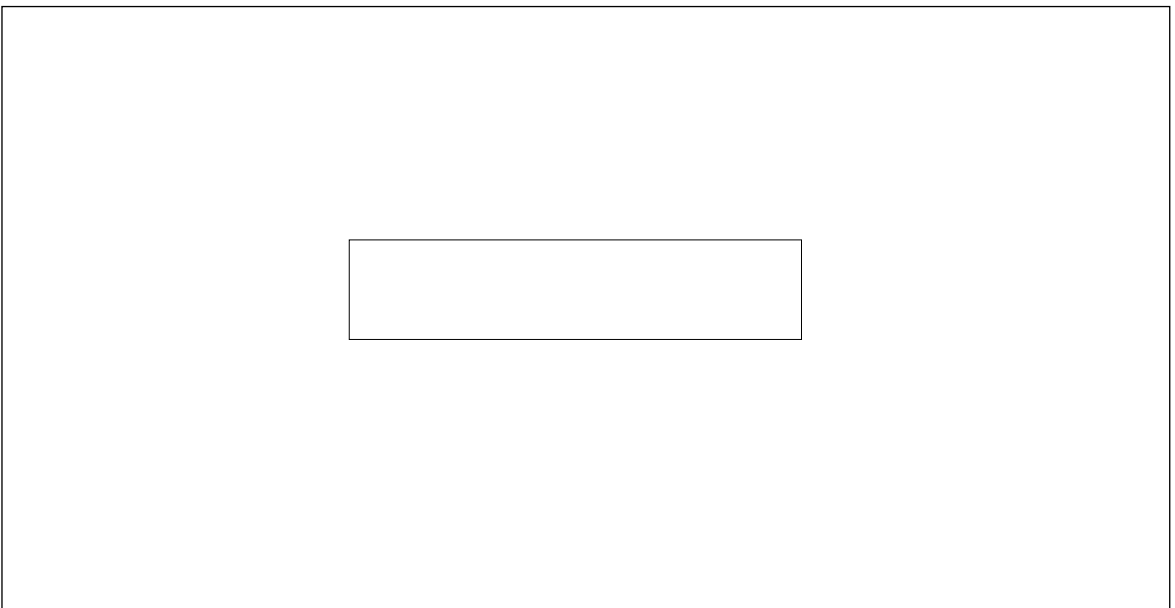
4. 建設計画策定に向けて

新市の地域らしさ価値を高めていくために

(1) 新市建設計画策定の考え方

近年になり、人々の価値観が変化し、将来の予測が困難な状況にある現代社会において、新市が持続的な繁栄を獲得していくために、将来構想ではブランディングという手法を用いて、4つの地域らしさ価値（ブランディング価値）と、その価値を高めていくための方向性を策定しました。ブランディング価値の考え方は、実現すれば新市にとってとても素晴らしい成果が期待できるものだと考えますが、そのためには住民と行政が新しい試みに向かって一体となって、取り組んでいくことが必要不可欠となります。

そのために、現段階の新市の位置づけを正しくとらえ、地域らしさ価値の向上に向けてどのくらいの距離があるのかを真摯に見極め、必要な情報を発信・共有し、地域らしさ価値を育てることを持続的に進めることが大切であり、その方法を建設計画としてまとめるものです。



イメージ図

(2) 策定の基本方針

構成市町村が、新市において共存共栄を図りながら一体的な活動を維持していくための計画とします

新市将来構想を実現する（「新市の地域らしさ価値」を高める）ための具体的な事業計画とします

住民と行政が協働で実施するまちづくりの活動に結びつく計画とします

(3) 策定における社会的視点

地域経営の視点

現在の社会背景を考えると、持続可能な社会を構築するためには、地域が主体となり、また一体となって、より戦略的に生きていく必要があります。地域が自身の地域の価値（誇り）や役割を認識し、「本当にやりたいこと」「本当に大切なもの」を明らかにしていくことが必要となります。

不確実性の時代における課題解決の観点

めまぐるしく変化する社会の変化の中で、不確かな将来に向かって地域の課題を解決し、目指す目標に向かっていくために、「小さな成功」を積み重ねることが大切と考えます。

そのためには、住民と行政の「自信を持って将来のための行動を行っていける」という気持ち（自己効力感）とまちづくりのモチベーションの向上をはかることが必要です。

(4) 策定に向けた重要課題

予測不能な将来に対応した計画の必要性

真に合併後のまちづくりを成功させるためには、事業の成果や社会状況の変化に応じて、合併後もよりすぐれた事業を生み出していくことが必要であることから、中・長期的な事業は、柔軟かつ即応的に見直しができるように取り扱うことが必要となります。

・ 10年間で何を達成するのかを明確にしていく。（事業は手段であり目的ではない）
--

・ 計画策定のプロセスを明確にしていく。

地方分権に向けた新市の自立ができるか（合併の成功とは？）

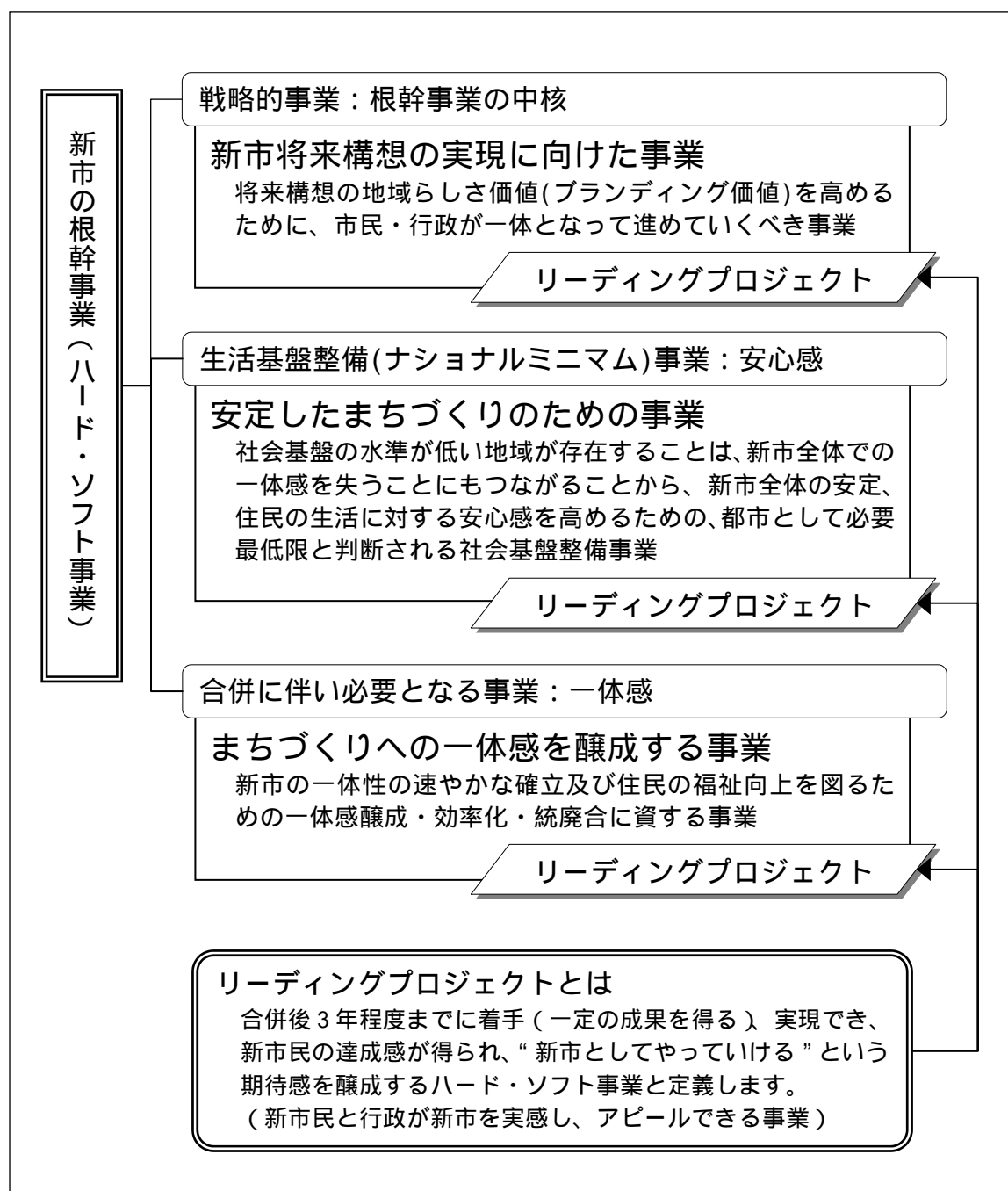
交付税や補助金が削減され、税収も不確定のなか、持続可能な地域経営のための戦略を明確にする必要性があります。

合併後のまちづくりに対する気持ちを高めていくことができるか

まちをつくっていくのは人であり、地域そのものをブランドとしてとらえ、新市民のまちづくりに対する気持ちや新市に対する愛着・誇りを高めていくことが重要となります。

(5) 根幹となる事業について

新市建設計画に登載する根幹事業は、新市将来構想において示された目指すべき都市の姿を住民と行政が一体となって高めていくための事業を中核として、大きく以下に示す分類として定義します。



(6) 建設計画書の事業登載の考え方

登載方法について

新市の戦略や10年間で何を達成していくのかを明確にした上で、前頁で述べた根幹事業の性質の違いに応じて、住民の方々にわかりやすいように記述するとともに、将来構想とどうつながるかなどをできる限り具体的に記載します。

また、リーディングプロジェクトは、特に新市民の達成感や期待感を合併後の短い期間で醸成していく必要があることから、具体的な事業名や地区名等を明確に示していきます。

既往計画との関連について

新市建設計画では、将来構想実現に向けた新たな施策の検討を行います。したがって、構成市町村がこれまでに策定してきた総合計画等の既往計画は、地域の状況、住民の要望などから検討してきたものであり、建設計画の事業出しにおける一つの素材として位置付けられることとなります。

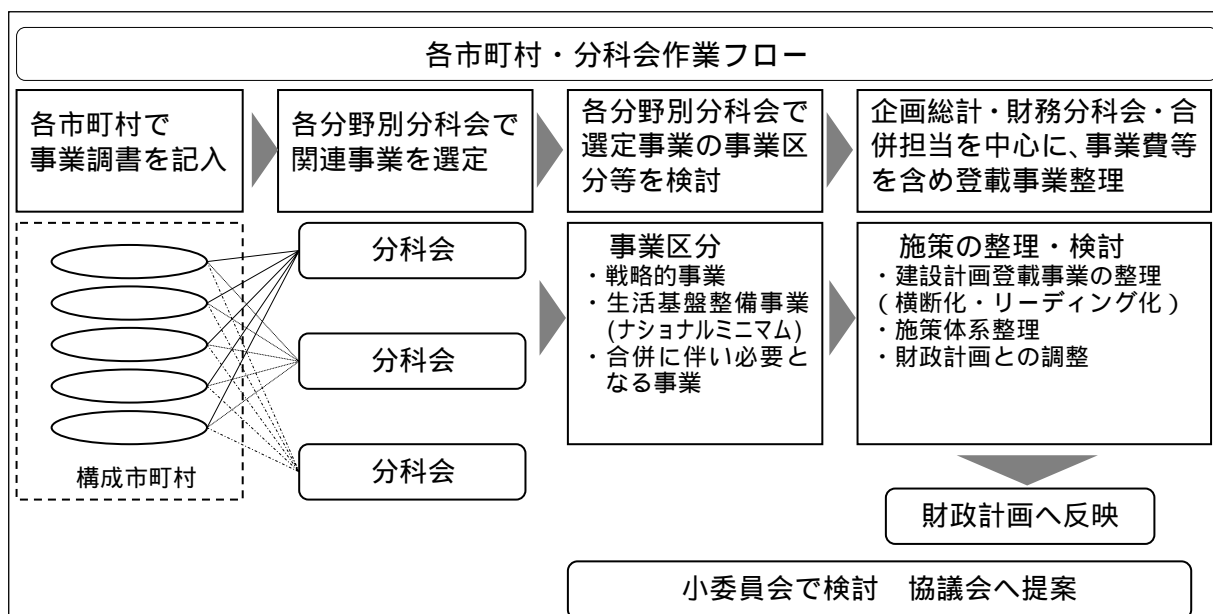
建設計画は、それらの素材を含めて、新市の地域らしさ価値向上に向けた施策を明確にするものです。

新市の総合計画との関連について

新市建設計画は、新市将来構想を実現するための根幹となる事業を明確にしていくものです。従って、新市の全分野に及ぶ施策や事業を掲載するものではないことから、新市が目指すまちづくりの詳細な内容については、新市建設計画を基礎として、新市において策定する総合計画で検討するものとします。

(7) 建設計画登載事業検討作業の進め方

建設計画登載事業については、関係者の共通理解のもとで、新市民の視点に立った検討を進めます。具体的には、構成市町村の提案調書等をもとにした分野ごとの検討を加えることで、横断的に施策を整理し、小委員会で検討を進める方法を取っています。



5. 建設計画書の構成

構想書P14の「新市将来構想策定の流れ」のイメージと同様

「第1章概況からみた可能性」～「第6章財政計画」までの流れをフロー図に示し、建設計画の流れを一目で見て取れるように整理して示す。

整理する内容は、建設計画策定の考え方と策定の組み立て

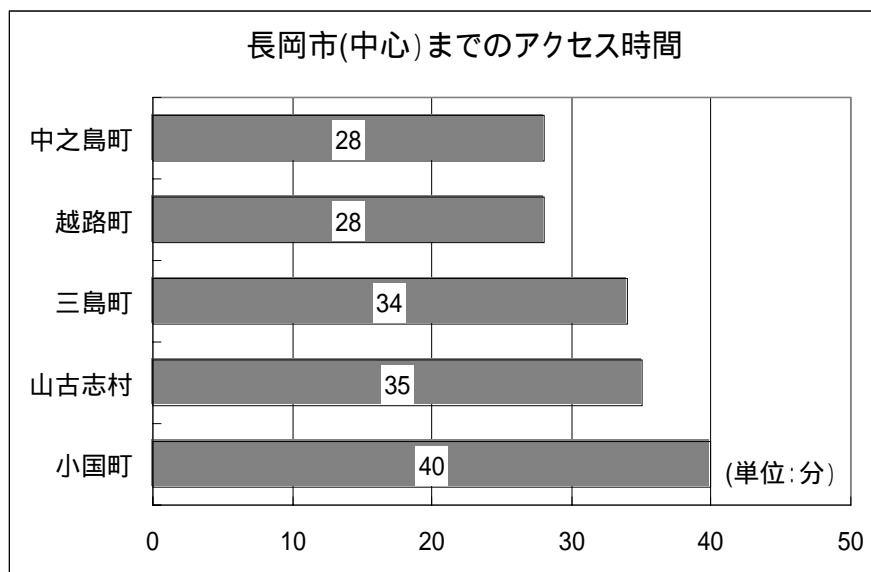
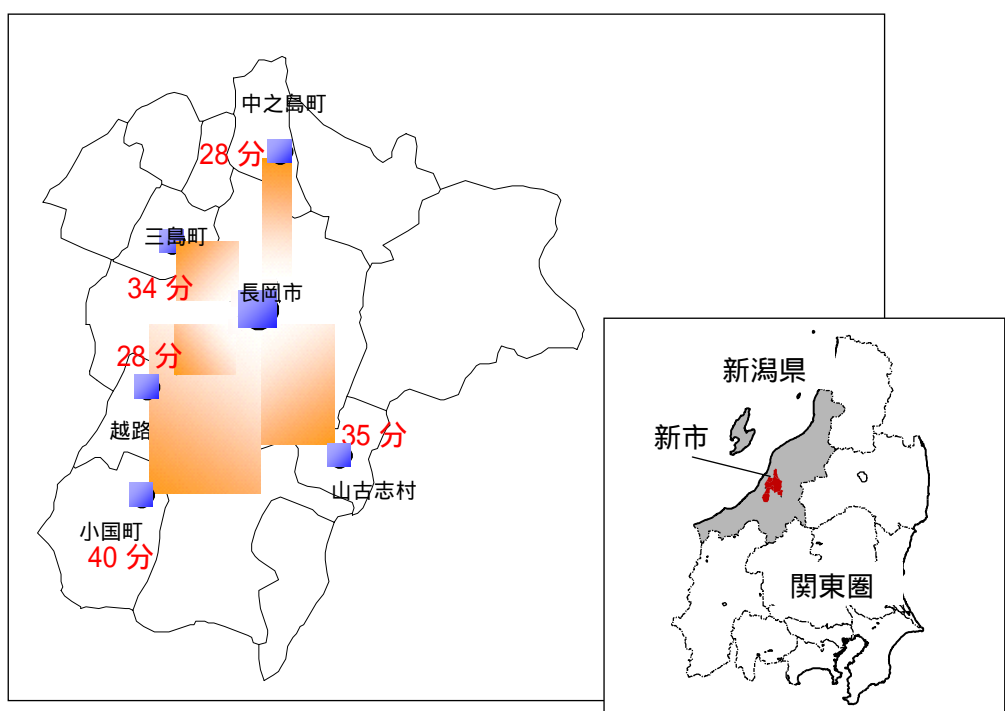
第1章 新市の概況からみた可能性

1. 新市のフレーム

(1) 位置・地勢

新市の中心部となる長岡市への各地域からの現在のアクセス時間をみると、全ての地域が30～40分圏域に含まれます。

モータリゼーションの進行に加え、対象地域のアクセス性の高さを活かし、人々の暮らしや地域交流の広域化に対応した、まちづくりを一体的に進めていくことができます。

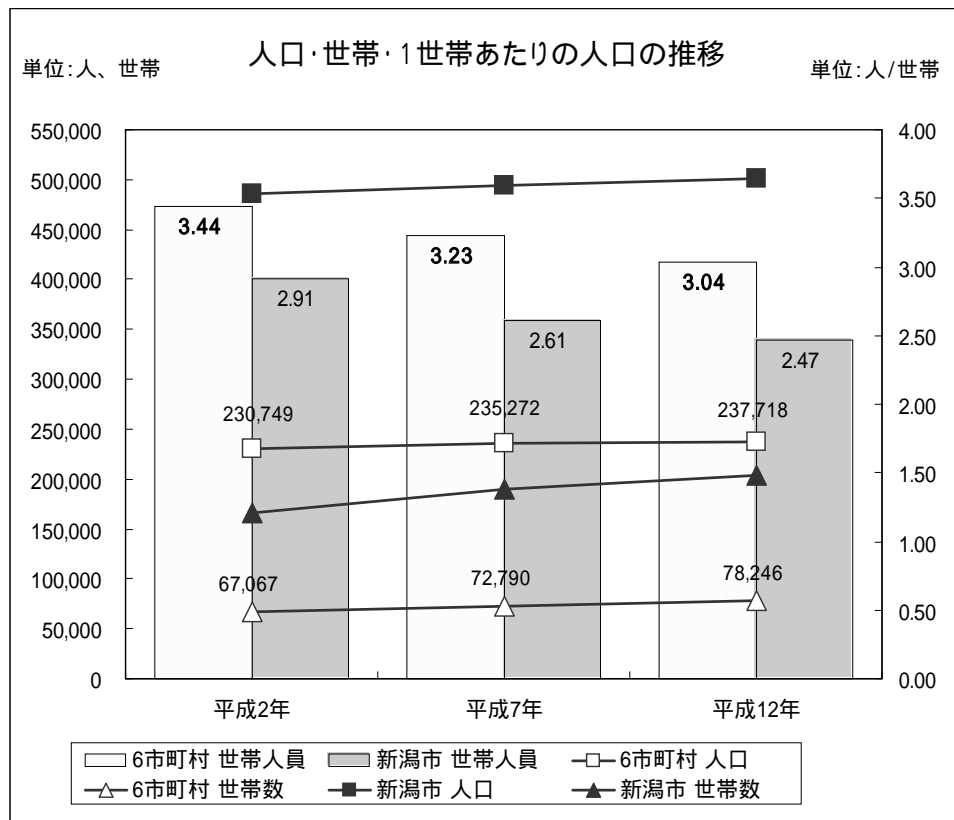


参照資料：長岡地域振興計画

(2) 人口・世帯

新市の人口は、平成12年の時点で、237,718人であり、新潟県総人口の約1割を占めています。

県全体では人口が減少傾向にあるのに対して、新市では、緩やかに上昇しています。また、1世帯当たりの人口も比較的多く安定していることから、新市では、社会の変化に対して、人々の暮らしは穏やかに変化していることが伺えます。



単位: 人、世帯

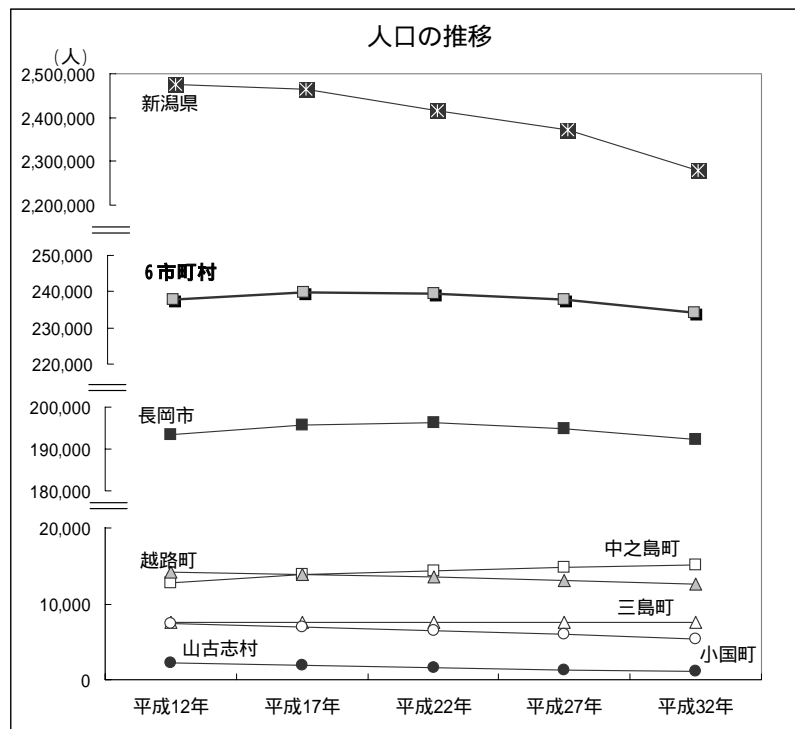
	昭和60年	平成2年		平成7年		平成12年	
	人口	人口	世帯	人口	世帯	人口	世帯
長岡市	183,756	185,938	56,425	190,470	61,725	193,414	66,680
中之島町	11,017	11,499	2,581	12,727	2,875	12,804	3,075
越路町	14,060	14,430	3,437	14,294	3,586	14,271	3,773
三島町	6,828	6,888	1,613	7,269	1,751	7,618	1,944
山古志村	3,508	3,219	822	2,523	749	2,222	700
小国町	9,191	8,775	2,189	7,989	2,104	7,389	2,074
6市町村	228,360	230,749	67,067	235,272	72,790	237,718	78,246
新潟県	2,478,470	2,474,583	707,779	2,488,364	757,341	2,475,733	795,868
新潟市	475,630	486,097	166,789	494,769	189,326	501,431	203,283
全国	121,048,923	123,611,167	41,035,777	125,570,246	44,107,856	126,925,843	47,062,743

参照資料: 国勢調査(S60、H2、H7、H12)

(3) 人口動態の見通し

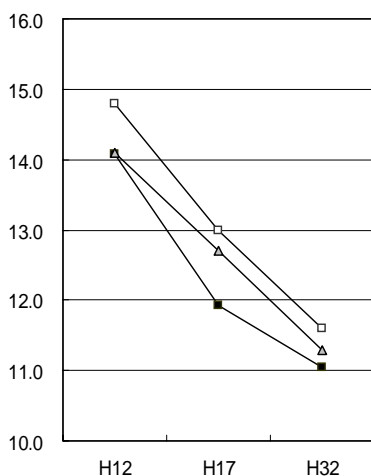
人口動態の見通しでは、新市は平成 22 年までは緩やかな伸びを示し、以降減少していく見通しが示されています。県全体の人口減少傾向と比べて、しばらくは、人口はゆるやかに増加する傾向が見込まれています。

少子化、高齢化の進行についても、比較的に穏やかに進行していくと見込まれており、じっくりと、安定した、まちづくりを進めていくことが可能な地域といえます。

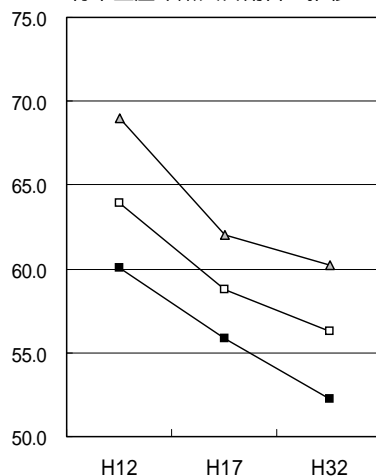


参照資料：長岡地域振興計画

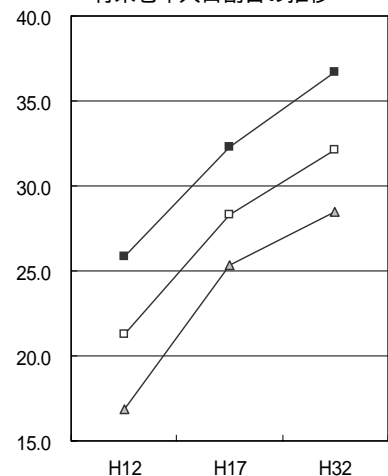
将来年少人口割合の推移



将来生産年齢人口割合の推移



将来老年人口割合の推移



■ 6市町村 □ 新潟県 ▲ 新潟市

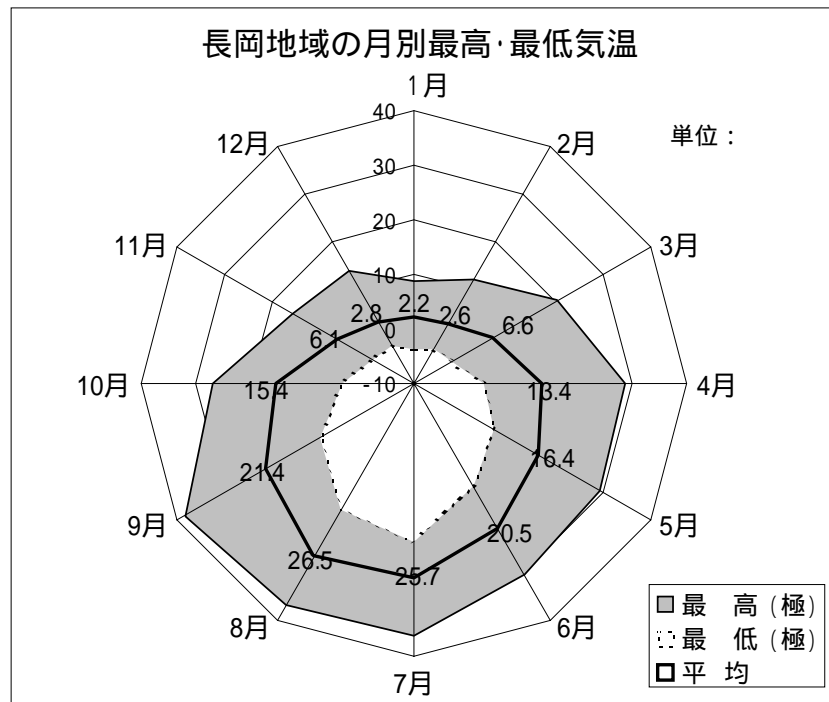
■ 6市町村 □ 新潟県 ▲ 新潟市

■ 6市町村 □ 新潟県 ▲ 新潟市

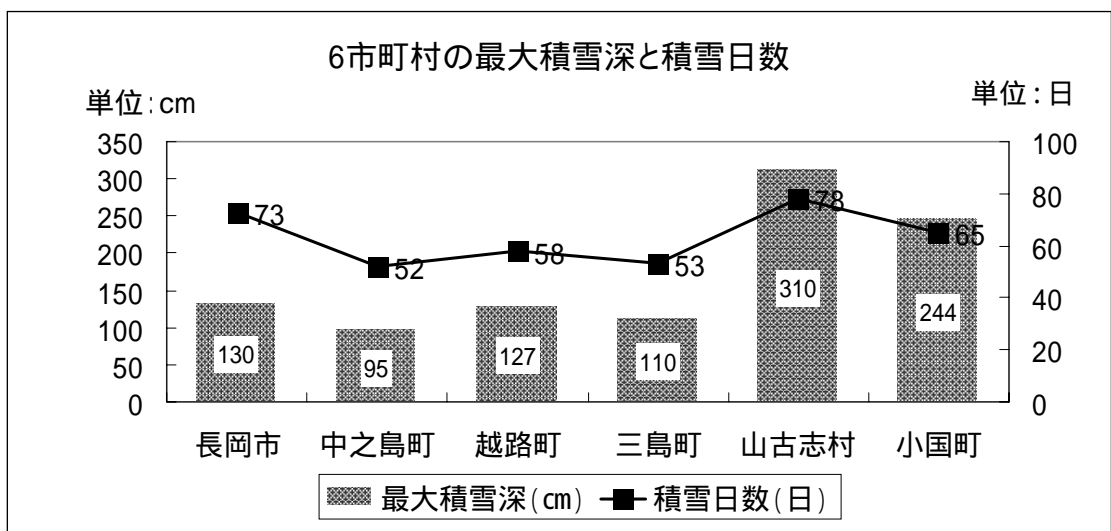
参照資料：国立保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成14年1月推計)」

(4) 気象

新市は、冬期には積雪深の多い地域と少ない地域があり、また、夏期でも最高気温が25度前後です。
 こうした気象上の特徴を活かして、年間を通じて、多様な観光活動を提案することのできる地域です。



1 平均気温は毎正時(24回)の値を平均したもの(H14年度)

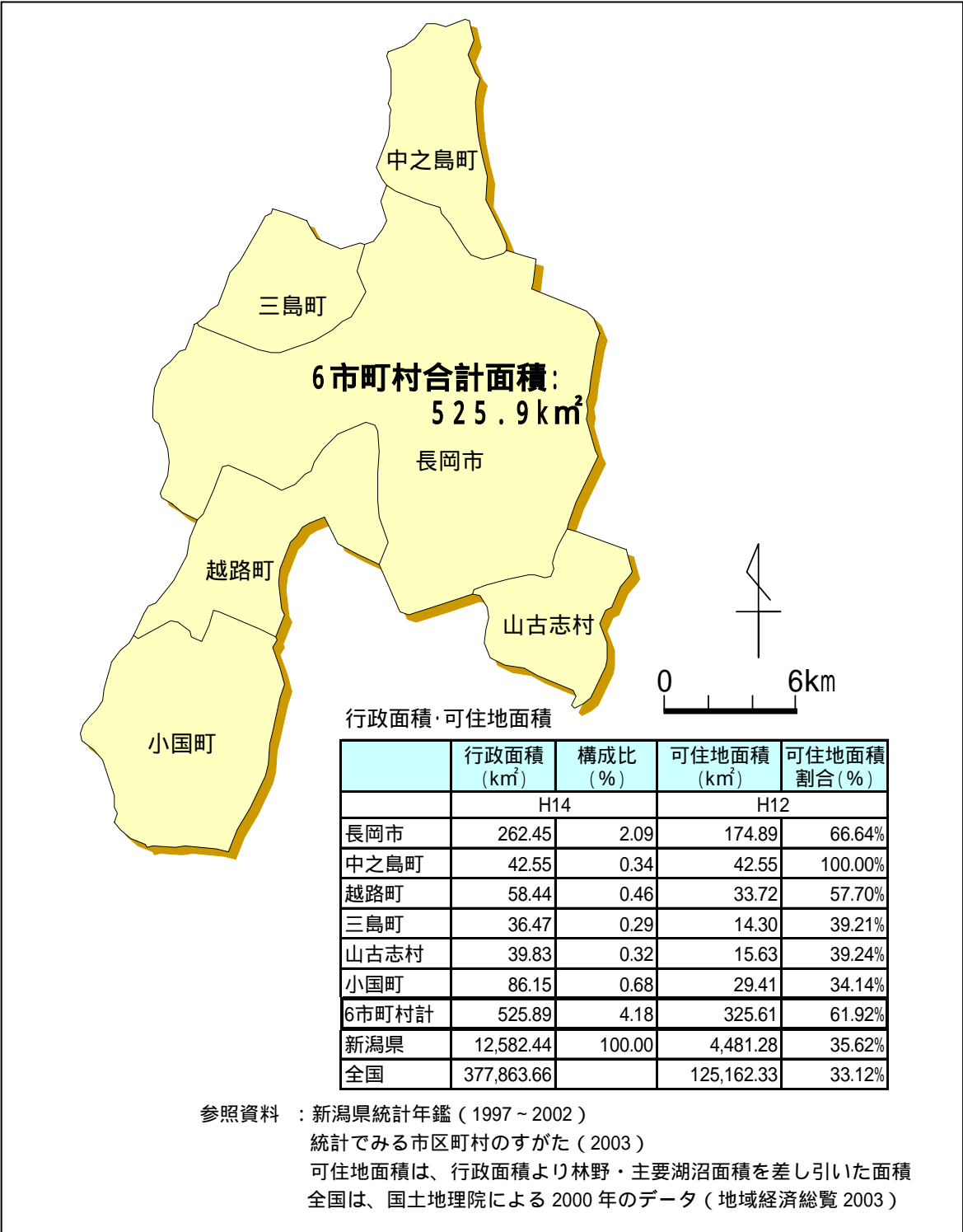


平成12年度初雪時から平成13年度最終積雪時まで
 積雪日数は、観測値が1cm以上の日数

(参照資料:新潟地方気象台)

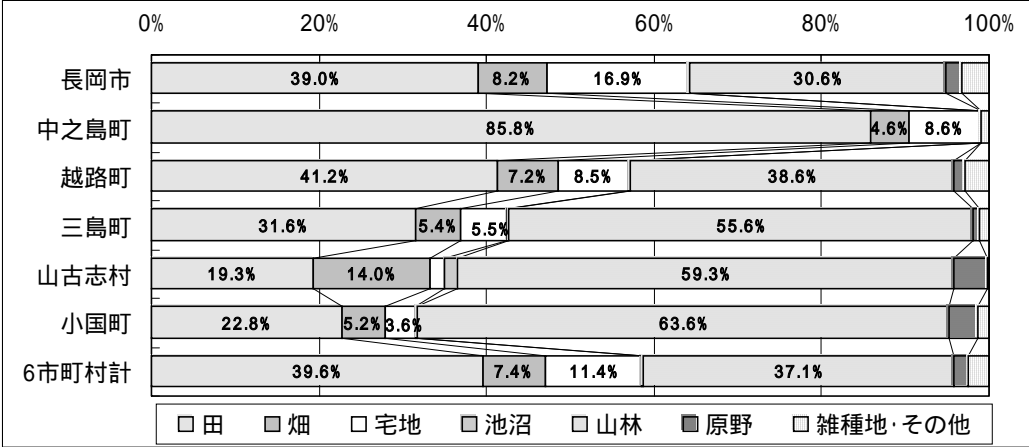
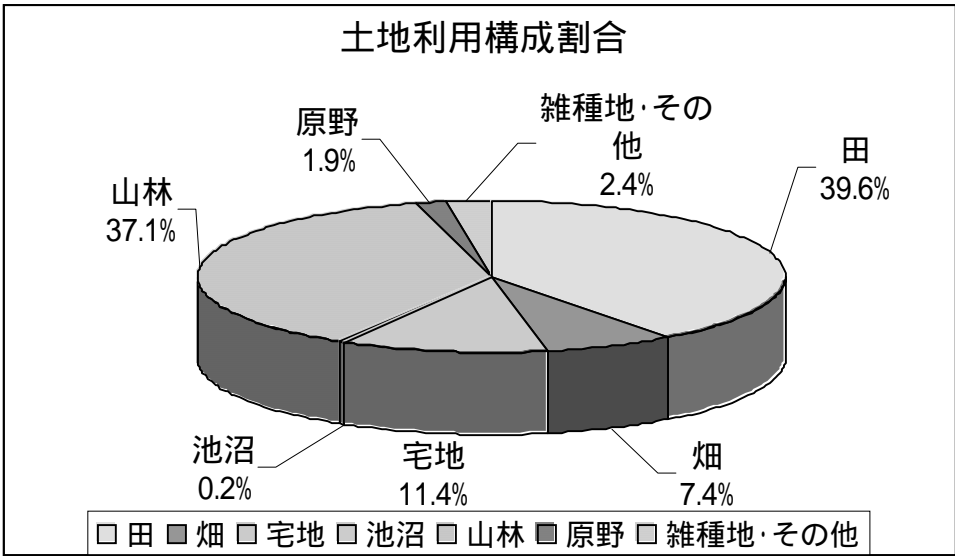
(5) 面積

新市における行政面積では、長岡市が5割近くを占めることになります。
 新市は、平地部の占める割合が高く、可住地面積の割合が、6市町村では6割以上となっています。



(6) 土地利用

新市の土地利用の現況をみると、田が全体の39.6%、山林が37.1%を占めており、日本の原風景が残された、自然豊かな地域であることがわかります。
 また、地域ごとに特色が豊かで、多様な景観を楽しむことができることから、地域特性を生かしたまちづくりを進めていくことができます。

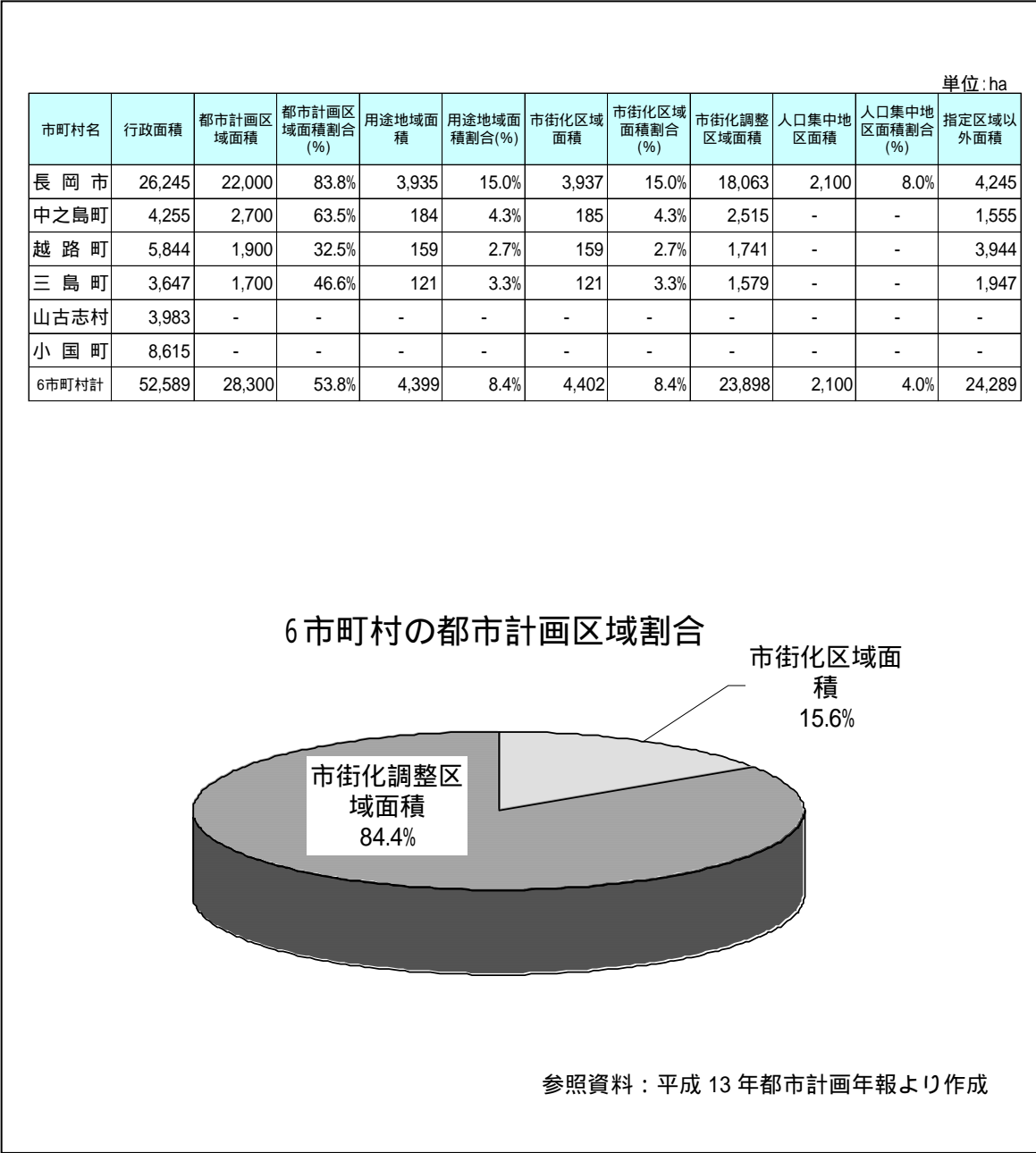


市町村名	田 (ha)	畑 (ha)	宅地 (ha)	池沼 (ha)	山林 (ha)	原野 (ha)	雑種地・その他 (ha)	総数 (ha)
長岡市	6,230.3	1,334.3	3,197.9	29.8	5,211.2	382.0	9,859.6	26,245.0
中之島町	2,594.9	142.5	285.6	0.1	0.0	2.4	1,229.5	4,255.0
越路町	1,336.8	232.7	308.0	8.5	1,266.9	42.5	2,648.7	5,844.0
三島町	839.9	159.1	153.9	2.3	1,447.8	16.6	1,027.5	3,647.0
山古志村	359.5	261.9	33.4	25.8	1,278.8	77.0	1,946.5	3,983.0
小国町	1,064.7	234.6	183.9	2.7	3,056.7	171.2	3,901.2	8,615.0
6市町村計	12,426	2,365	4,163	69	12,261	692	20,613	52,589.0

参照資料：平成15年新潟県統計年鑑より作成

(7) 都市計画区域

都市計画区域面積は、新市全体の53.8%にあたり、用途地域面積、市街化区域面積ともに8.4%となっています。
人口集中地区面積は、行政面積のうち4.0%にあたります。



2. 新市の競争力

新しい発想力やチャンスを支援する力

新規事業所開設割合

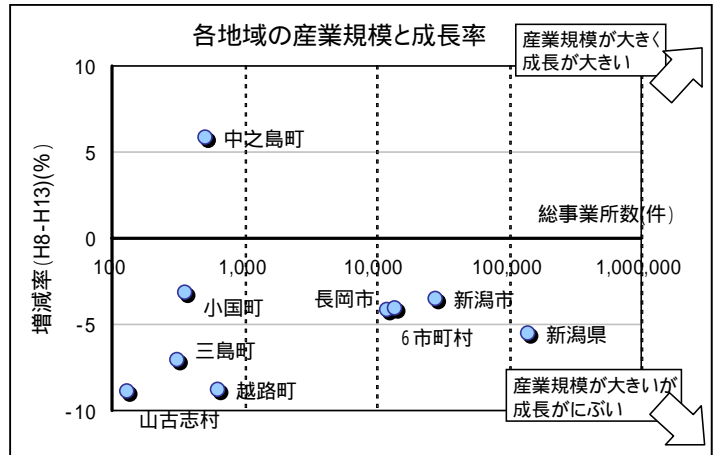
新市における総事業所数の推移をみると、全般的には、減少していますが、県全体の平均と比べると、その減少率は小さく、全国的に事業所数が、減少する中で、企業努力が図られ健闘しています。

特に、中之島町などでは、平地部が広がる地域の特性を生かす形で、企業立地が順調な伸びを示しています。事業所数の減少は、製造業における物流拠点の統廃合や商業店舗の大型店舗化といった、近年の企業活動の動向をふまえれば、その減少は、産業不振と一概には捉えることはできません。

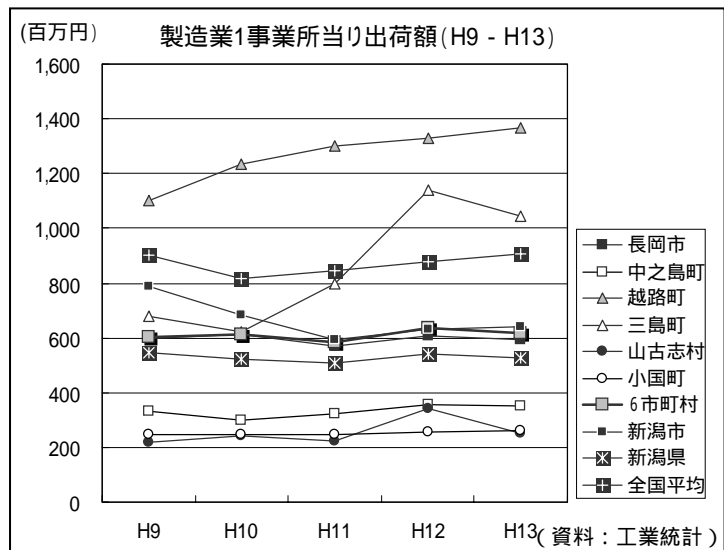
都市の資源を活かし、育てる力

新市の製造業は全国的な不活性の中、健闘しています。

新市の製造業における、1事業所当りの製造出荷額はおだやかに推移しています。新潟市における、近年の大幅な減少傾向や全国的な経済の不活性の中で、新市の製造業分野では、事業所当り出荷額を維持してきています。一方で、全国的には穏やかではありますが、増加する傾向がみられ、新市においても、今後、発展の可能性をみる事ができます。



(資料：工業統計)



長岡地域の製造業事業所状況

名称	H13 事業所数	H13	H13	H13/H12 前年増減率(%)	
		従業者数 (人)	出荷額 (百万円)	事業所数	出荷額
長岡市	749	20,591	443,704	3.0	5.7
中之島村	29	709	10,240	14.7	15.2
越路町	35	2,375	47,799	7.9	5.5
三島町	25	881	26,076	7.4	15.2
山古志村	6	81	1,519	14.3	36.5
小国町	22	510	5,788	12.0	9.0
6市町村	866	25,147	535,126	4.1	6.5
新潟市	824	21,773	529,309	5.9	4.2
新潟県	8,279	217,685	4,382,361	4.3	6.2
全国計	316,267	8,866,220	286,667,406	7.4	4.6

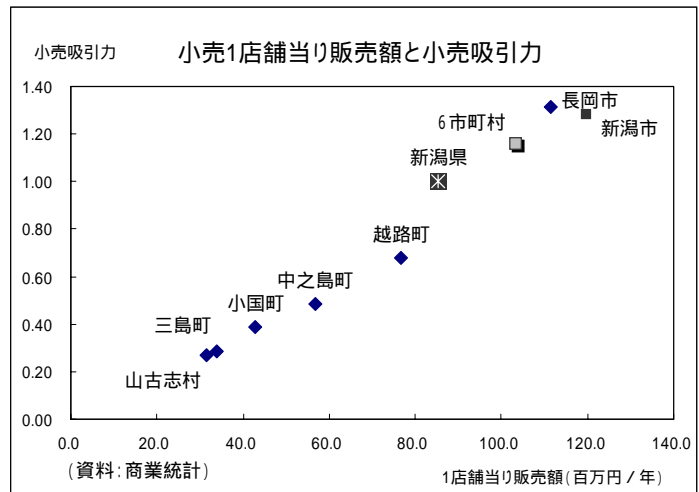
(資料：工業統計)

新市の商業ポテンシャルは、非常に高い可能性を持っています。

新市における商業ポテンシャルの度合いを見る目安として、1店舗あたりの年間販売額、及び、小売吸引力の状況を見ると、全県においてとても高い位置づけにあることが見て取れます。合併事業による一体的整備をはじめとして、商圈の広域化や小売吸引力の強まり等、現在でも高い吸引力を示している長岡地域は、さらに求心力が高まることが期待されます。

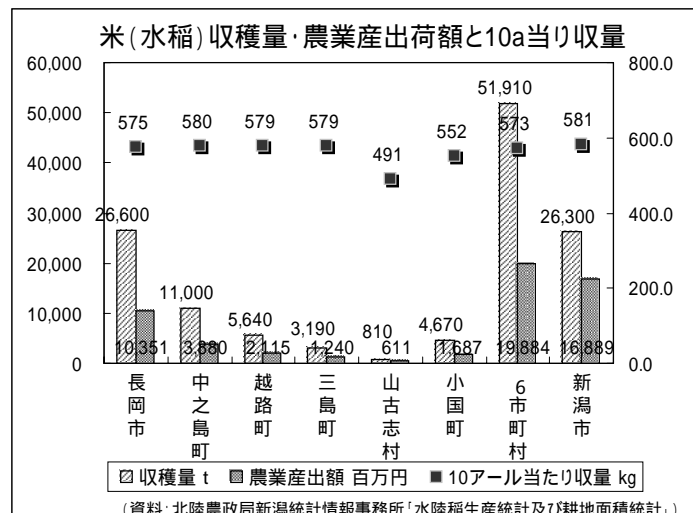
新市の米(水稲)生産は県内で、大きな位置を占めています。

新市の農業粗生産額は、新潟市を上まわり、また新潟県を代表する農産物である米の生産状況を見ると、米粗生産額で新潟市を上回っており、新市を代表する農産物となっています。



	H14	H14	H14	H14/H9	H14/H9
	商店数 店	従業者数 人	年間販売額 百万円	商店数増減率 %	年間販売額増減率 %
長岡市	2,373	14,822	264,534	6.8	4.8
中之島町	114	424	6,487	7.3	20.1
越路町	133	603	10,076	8.3	1.2
三島町	66	209	2,242	8.3	4.9
山古志村	20	48	628	20.0	10.6
小国町	70	226	2,998	12.5	18.5
6市町村	2,776	16,332	286,964	4.6	4.0
新潟市	5,583	36,659	668,303	5.3	4.0
新潟県	30,236	158,263	2,575,816	6.9	5.9
全国	1,300,057	7,972,805	135,109,295	7.6	6.1

	農業粗生産額 (百万円)	米粗生産額 (百万円)	農家数 (戸)	米生産額割合 (%)	1戸当たり生産額 (百万円/戸)
長岡市	10,438	7,691	4,271	69.9	2.44
中之島町	3,965	3,211	1,145	80.9	3.46
越路町	2,174	1,610	986	73.3	2.20
三島町	1,277	911	443	71.6	2.88
山古志村	739	239	389	28.8	1.90
小国町	1,712	1,354	1,256	77.0	1.36
市町村計	20,305	15,016	8,490	71.6	2.39
新潟県	314,100	7,631	116,265	64.3	2.70
新潟市	16,720	205,098	3,181	36.7	5.26
全国	9,257,400		3,120,215		2.97



(資料:北陸農政局新潟統計情報事務所「新潟農林水産統計年報(農林編)」)

3. 新市の暮らしやすさ

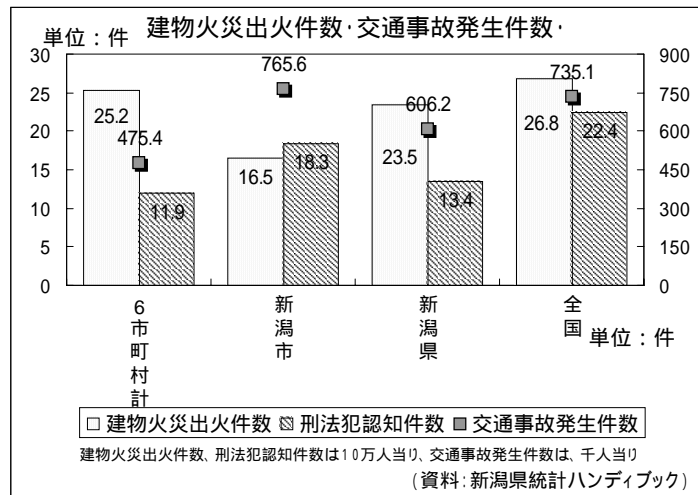
(1) 新市の住民の、安心・安全な暮らしを支える力

「安全・安心」を支える力

「犯罪」、「交通事故」で新潟県の平均を下回っています

新市の住民の「安全・安心できる暮らし」を支えていく力の度合いを、「火災」、「犯罪」、「交通事故」の3つの住民生活を脅かすできごとからみると、「犯罪」「交通事故」の発生度合いは、全国平均、新潟県の平均を下回っており、新市市民の安全で、安心した暮らしを守る力、支える力は、十分に発揮されています。

今後、市民の様々な活動の基本となる「安全・安心」な暮らしを支えていく力を維持、発展させ、まちづくりを進めます。



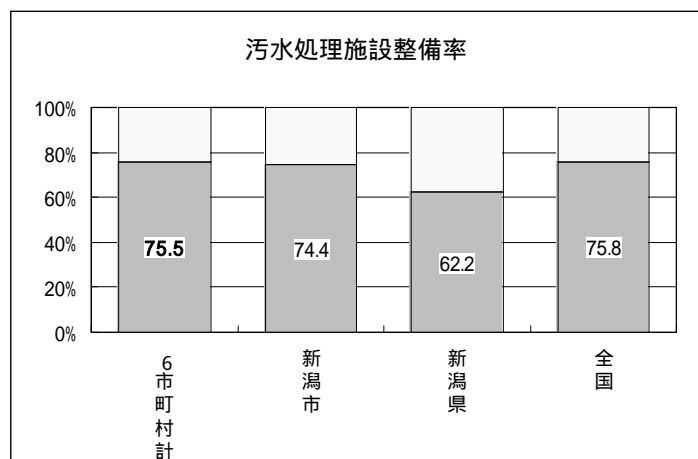
資料：「統計でみる市区町村のすがた 2003・社会生活統計指標 - 都道府県の指標 - 2004」・平成12年度国勢調査65歳以上人口

(2) 新市の環境へのやさしさ

新市の環境をまもる力

新市の環境に対するやさしさは平均以上です。

新市の環境へのやさしさを見る指標として、污水处理施設整備率をみると、全国の平均と同様のレベルに達しており、新潟県の平均を大きく、越えています。



下水道、農・林・漁業集落排水施設、コミュニティ・プラント、その他集合処理施設及び合併処理浄化槽の処理人口の割合
資料 H14 年度国土交通省、農水省、環境省まとめ

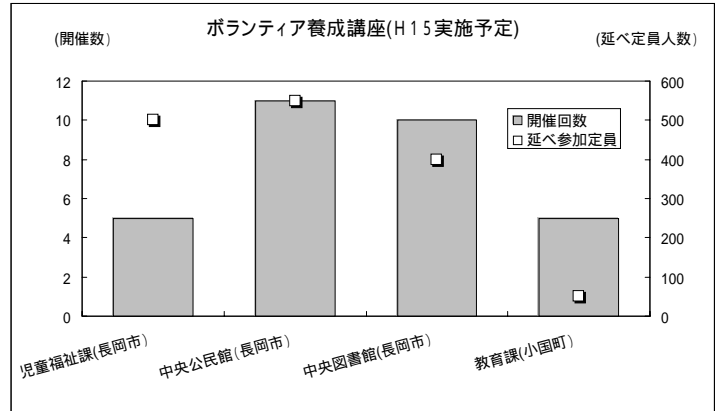
4. 新市の人を育てる力

(1) 住民が自ら学ぶ活動を支える力

住民の生涯教育を支える力

住民自ら、生涯教育を支え、人を育てることを重視しています

新市の生涯教育を支えるボランティア養成講座開設状況は、平成15年度実施予定回数では26回の開催となっています。新市となって、都市の拠点的な位置づけが高まれば、全県において、さらに新市での開催を求める声が高まることが期待されます。



行政出前講座の実施状況

市町村名	開始年度	H14実施回数	内容
長岡市	H13	84	議会、市政、福祉、健康、子育て、救命、消防、生活、建設、文化、観光、産業、スポーツ、施設案内
小国町	H12	11	伝統文化、福祉、くらしと下水道、パソコン、ニュースポーツ
新潟県		776	

(2) 高齢者が生き生きと学び、社会貢献を支える力

高齢者が生き生きと積極的に参加できる力

今後も施設ボランティア、及び、参加者を積極的に増やしていくことが生き生きとした地域活動へとつながります。

新市の現状の高齢者の積極的な社会参加への支援状況を、施設ボランティアの開催状況でみると、平成14年度の実績で開催回数26回と新潟市の143回と比べて少ないですが、出張講座をあわせると100回のボランティア活動支援を行っており、地域や住民視点に入り込んだ活動を、積極的に行ってきたことが示されています。新市では、こうした、地域に根ざした活動が活発に行われています。

ボランティア養成講座の内容(H15実施予定)

市町村	主催	講座名
長岡市	児童福祉課	ファミリーサポートセンター会員養成講習会 サークルリーダー研修会
	中央公民館	ボランティア体験講座 紙芝居ボランティア講座
	中央図書館	読み聞かせボランティア養成講座
小国町	教育課	子育て支援ボランティア養成講座

資料：平成15年新潟県 生涯学習・社会教育の概況

施設ボランティアの実施状況

市町村	施設ボランティアの活用している施設と参加人数(H14実施数)						合計人数	行政出前講座の実施状況(H14実施数)	ボランティア養成講座(H15実施予定数)
	公民館(人)	図書館(人)	体育館(人)	博物館	青少年教育施設	その他			
長岡市	19	37			1	11	68	84	26
中之島町							0		
越路町	3						3		
三島町							0		
山古志村							0		
小国町		4					4		
6市町村	22	41	0	0	1	11	75	84	26
新潟市	357	510			24	11	902		143
新潟県	968	1055	47	235	249	1173	3727	776	472

資料：平成15年新潟県 生涯学習・社会教育の概況

5. 新市の交流する力

地域間での交流力

高速道路 IC、といった交通拠点の利用状況をみると、新市の交通結節点、要衝としての位置づけの高さがわかります

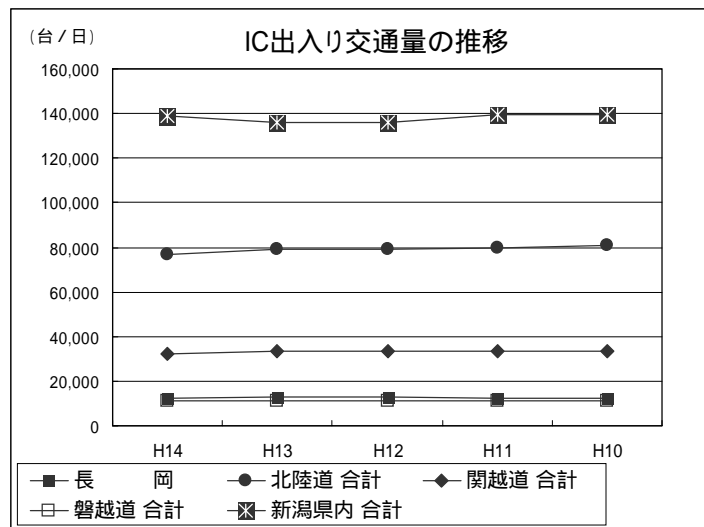
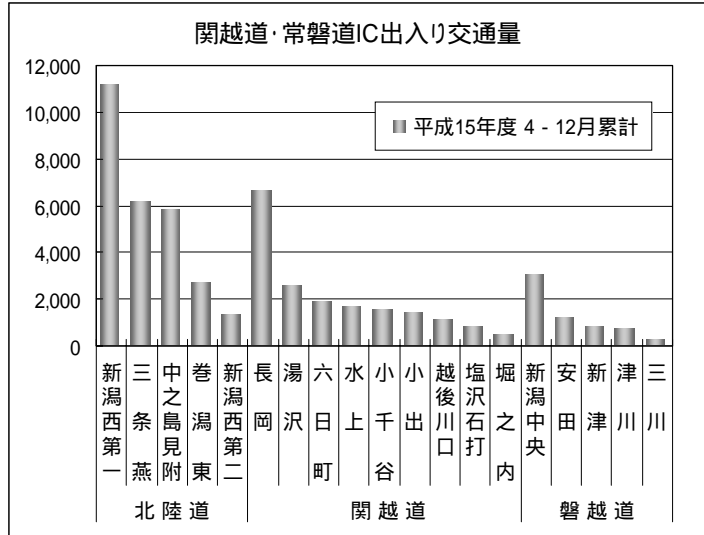
関越道における長岡 IC の出入り交通量は、他の IC と比較してとても高い状況にあります。

モータリゼーションの進展に伴い、鉄道利用は減少傾向にあります。近年の高齢化を背景として、モーダルシフトの推進やTDM施策等の公共交通利用促進を踏まえ、また、新市となり、都市の拠点性が高まることから、都市機能の向上のためには、鉄道利用も大きな課題となります。

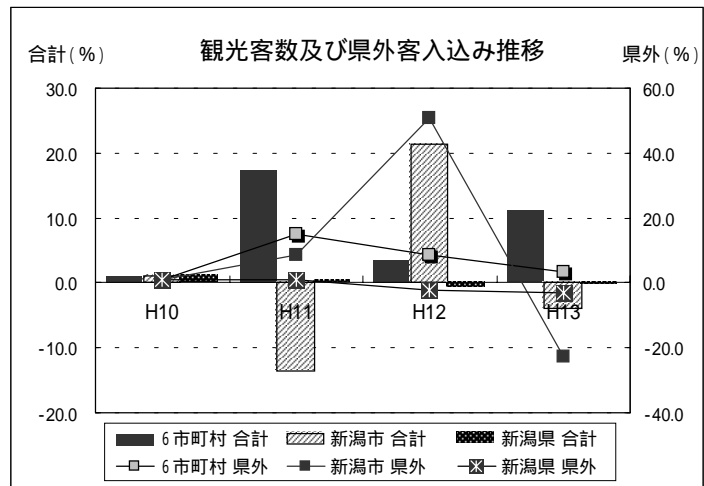
低下傾向にある観光動向の中で、新市の観光産業は健闘しています。

観光入込み客数の動向は、全県で下降する傾向にある中で、新市では、上昇する傾向にあります。

県外からの観光客の動向では、新潟県、新潟市で下降傾向にあるのに対して、新市では上昇しており、観光面での強さを示しています。



(JH新潟支社 提供資料)

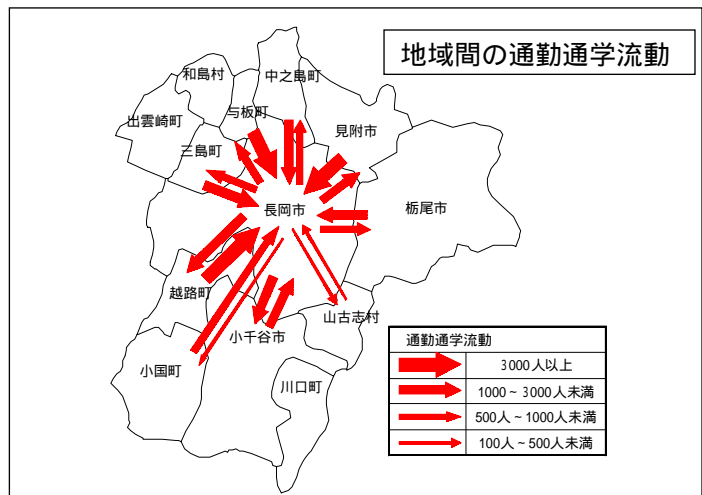
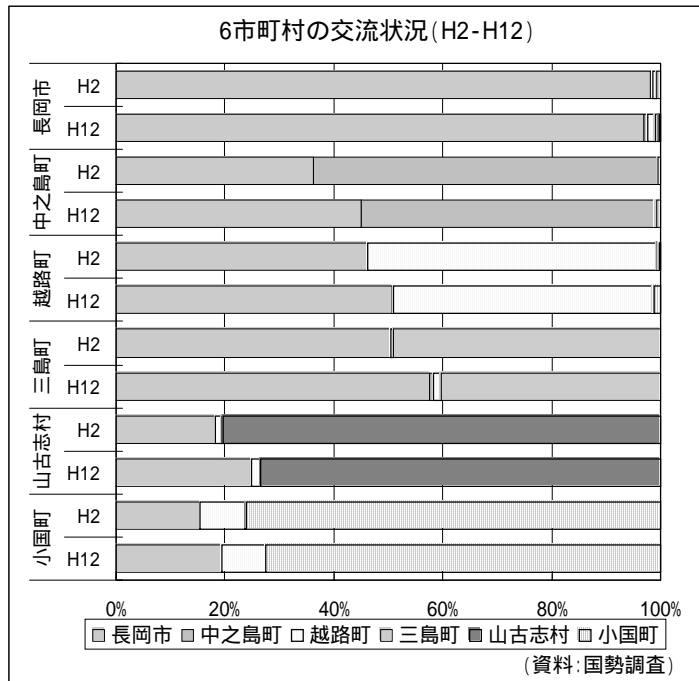


(県観光課「新潟県観光動態の概要」)

新市では、他市区町村からの流入は減少していますが、地域内の交流は増加傾向にあります

新市における地域間交流の状況を、通勤通学流動の推移でみると、構成6市町村の長岡市への通勤通学流入人数は増加傾向にあり、(次頁図：6市町村の交流状況参考)地域内交流は活発化しています。

新市では、広域を対象とした、地域全体が一体的に、広域を対象とした、事業や整備が進めることから、地域交流は、今後一層、広がりを持つ可能性があります。



国際的な視野からの交流力

新市の姉妹・友好都市は、4市。
新市になりさらに国際交流の幅が広がります。

新潟県における国際交流推進事業は、県内高校生を対象として、米国イリノイ州へホームステイの方式により25日間(平成12年度からは24日間)派遣するというもので、昭和63年度から実施されています。当初は受入れよりも派遣人数の方が多かったものが、平成13年度には同数となり、受入れが増加しています。新市は、日本らしさを良い形で残している地域であり、都市的な利便性、田園をはじめとする豊かな自然環境を残した地域です。新潟県を代表する都市として、こうした国際交流の流れを受け、今後、派遣、受入れを求める声も高まることと予想され、さらに、積極的に国際交流を進める体制の充実が進むことが予想されます。

NPOなどの活動状況

地域コミュニティの強さを活かした、全市的な活動への転換が期待されます。

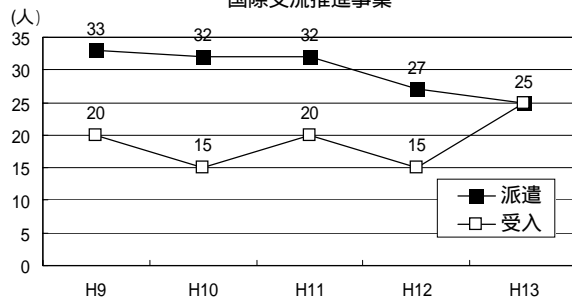
新市は、地域コミュニティの強さを持っていることもあり、市民活動の積極性が、NPO等の活動に現れにくいという実態があります。地域間交流が高まり、地域社会が広域化している中で、地域密着型のコミュニティ活動を基盤とした新市の市民活動は、活動範囲も内容もさらに幅を広げていく可能性があります。

姉妹都市・友好都市



(参考資料：各地域のホームページより)

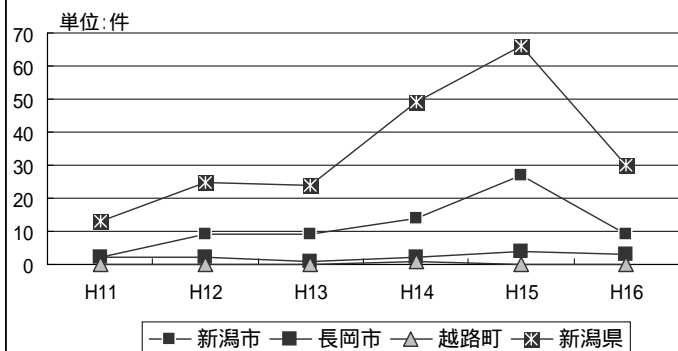
国際交流推進事業



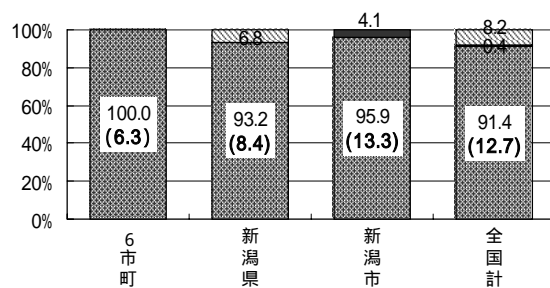
(資料：新潟県統計年)

県内高校生を米国イリノイ州へホームステイの方式により25日間(H12から24日間)派遣(563から実施)。受入事業は、イリノイ州の高校生を県内にホームステイの方式で15日間受け入れる(H1から実施)。

NPO認証推移



NPOの認証状況



()内は10万人割合

(資料：内閣府NPO関連ホームページ資料より)

第2章 基本方針

長岡地域新市建設計画「第2章基本方針」では、新市将来構想で考えてきた「新市」の地域らしさ価値(ブランディング価値)創りについての基本的な考え方を示すとともに、どのように新市まちづくりを進めていくのかについて説明します。

1. 新市の将来像

「地域らしさ価値」創りに向けて

(1) 新市まちづくりの考え方

新市は、将来構想を策定するにあたって、できる限り、住民の意見と思いを盛り込んで検討してきました。この過程の中で、生まれてきたまちづくりの基本的な考え方、新市が目指すまちの将来像が「地域らしさ価値(ブランディング価値)」につまっています。新市は、この「地域らしさ価値」創りを実現していく姿、実現に向けての地域や住民が取り組んでいく過程そのものが、新市の将来像であると考えます。

(2) 新市の「地域らしさ」とは

新市は、これからも、地域の人々が誇りに思い、ありたいと想う姿を、4つの「地域らしさ価値(ブランディング価値)」として表現します。

4つの地域らしさ価値(ブランディング価値)

独創企業が生まれ育つ都市 誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか

元気に満ちた米産地 まごころ米の生まれる里・新ながおか

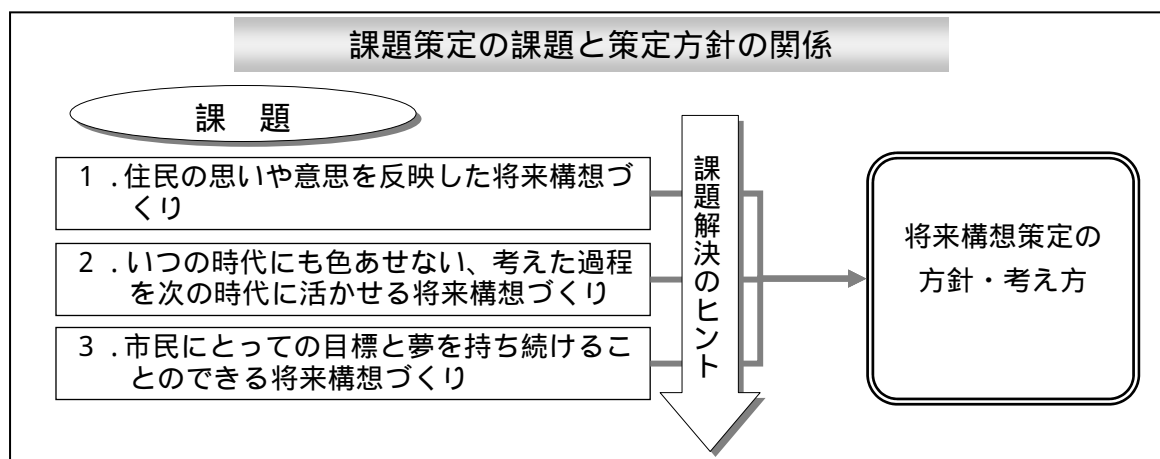
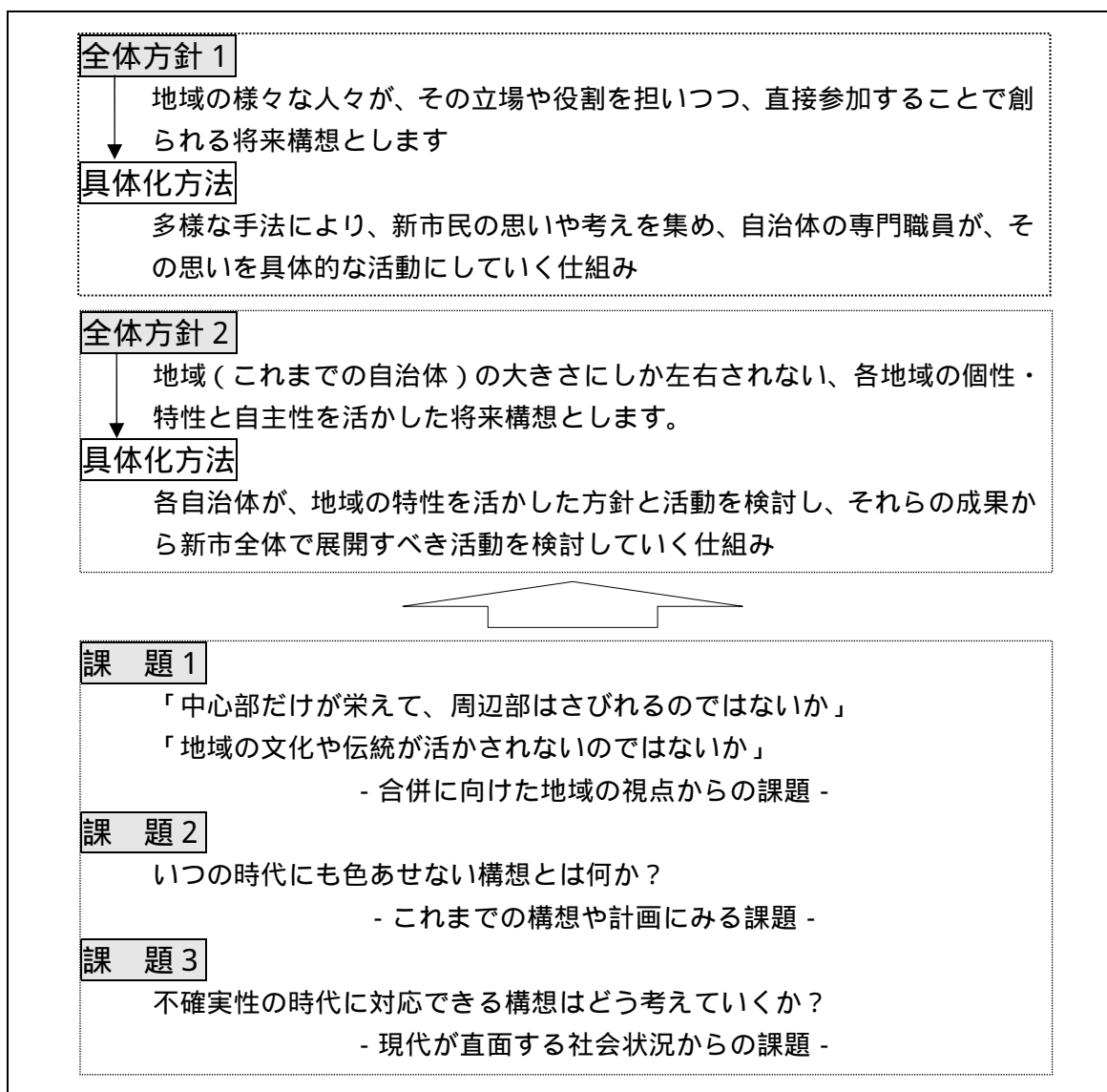
世代がつながる安住都市 未来人を育む資源博物館・新ながおか

世界をつなぐ和らぎ交流都市 「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか

「新市地域らしさ価値(ブランディング価値)」は、地域の多くの人々の〈まちの将来に対する声・思い〉から導き出された、未来に向けて共有し、高めていくべき価値としています。

(3) 新市将来構想を組み立てる基本方針

新市の将来構想策定では、地域視点からの課題、地域の人々の目線からの課題の解決の始点と方向性を踏まえて、以下に示すような基本方針で策定を行いました。



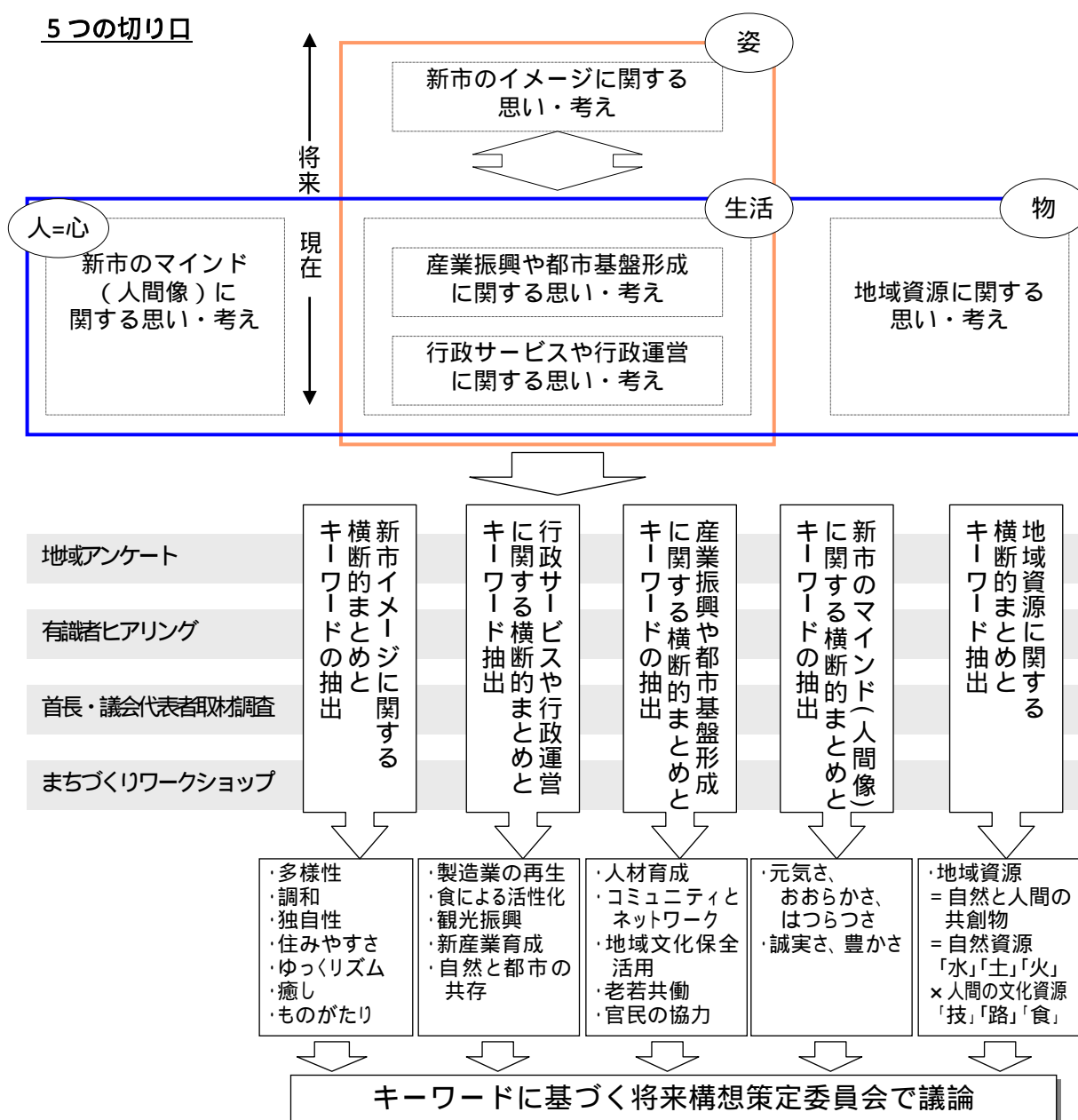
(4) 思いをまとめた5つの切り口

新市将来構想策定では、地域アンケート調査、まちづくりワークショップ、有識者ヒアリング調査、首長・議会代表者取材調査を行い、各地域、各層のさまざまな思いや意見をうかがいました。そして、それを集約するために、実施した全ての調査結果を、以下に示した2つの視点から5つの切り口により、横断的にまとめ、地域らしさ価値を考えるためのキーワードを抽出しました

2つの視点

将来・現在の生活・姿

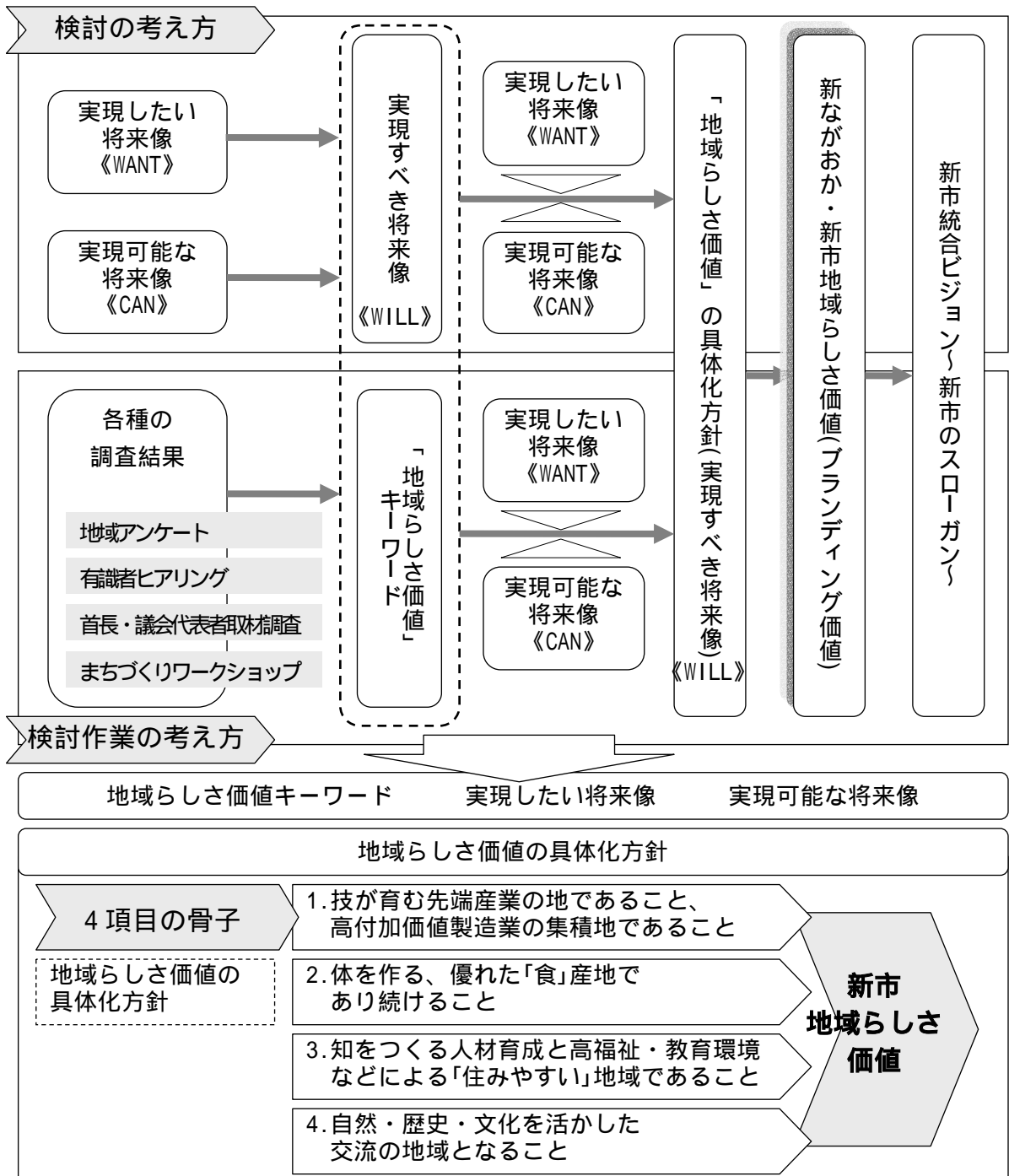
現在の地域の姿としてのモノとヒト



(5) 「地域らしさ価値」の具体化方針

地域の強みや「なりたい姿」から「なるべき姿」を導き、「地域らしさ価値」のポイントを明らかにしました

新市の将来構想策定にあたっての基本方針は、できるだけ多くの住民の願いを盛り込み、「なりたい姿」に即して構想をまとめています。まとめるにあたっては、根拠のない「願望」や実現不可能な「夢」とならないよう、「地域の強みに基づく実現可能な将来像(CAN)」と、「実現したい将来像(WANT)」を整理し、その上で、「実現すべき将来像(WILL)」を検討しました。以下は、その流れを示したものです。



(6) 新市地域らしさ価値（ブランディング価値）

独創企業が生まれ育つ都市 誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか

具体化方針「技が育む先端産業の地であること、高付加価値製造業の集積地であること」に基づく「新市地域らしさ価値(ブランディング価値)」として策定したのが、『独創企業が生まれ育つ都市 誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか』です。

ここには、私たちの地域が「技」の伝統を引き継いだ優れた製造業を持つ地域であり、これからも技術の進歩と優秀な人材によって、地域産業の核として育てていこうという思いが込められています。この地域らしさ価値は、「地域の人々の期待・希望・ありたい姿(WANT)」と「現状の強み(CAN)」を踏まえ、「実現すべき事柄(WILL)」を明確にした上で策定されたものです。策定背景・理由と、その具体的な内容を以下に示します。

WANT：期待・希望・ありたい姿

- ・「ものづくり」イノベーション都市を目指したい
- ・人と自然、伝統と最先端のバランスがとれたまち
- ・新潟県の中心になりたい
- ・「ものづくり」による産業振興を目指す
- ・新しい産業の創出
- ・チャレンジ精神のある地域パブリシティ
- ・住民主導・行政による支援
- ・情報に敏感かつ挑戦的に活動
- ・実証的・論理的な誠実さ

WILL：実現すべき事柄

- ・製造業主体の産業振興
- ・産学官が連携した新高度技術産業づくり
- ・知識・技術の集約総合化への取り組みを目指す
- ・10年先を見据えた人材づくり
- ・伝統のものづくりの技を市のシンボルとして大切にすま
- ・各地域の文化・特性を活かす
- ・産官学連携によるものづくり
- ・独自の魅力を増進する
- ・地下資源の有効な活用
- ・製造業をきっかけに全産業への振興を目指す
- ・恵まれた交流空間を活かした新産業の育成
- ・安心で、安全で、潤う産業づくり
- ・新たな起業への支援体制の充実
- ・チャレンジャーに地域でエールを送るまち
- ・多様性と個性を大切にすま
- ・多くの分野、機関が連携するネットワークの構築
- ・誠実な率直性と確かさ
- ・伝統文化を守り伝える、粘り強さを誇りとすま
- ・伝統と実績を広くアピール
- ・技を高める
- ・交通拠点を活かした流通業の拡充

CAN：現状の強み

- ・交通至便・技術の備蓄が誇り
- ・積極的に新しいものを取り入れる気質
- ・教育的環境・人材が育つ風土
- ・住民の自主的な動き
- ・協調性があり、慎重で粘り強い
- ・理論的実証的な性格
- ・水や土とともに人が育む

社会的背景・環境

閉塞状況を打ち破るベンチャービジネス・起業、高付加価値新産業（企業）への期待
 オリジナリティのあるビジネスモデル開発企業の成功
 国立大学独立行政法人化などを背景とした、大学の「事業開発」への取り組み
 少子高齢化・入学者減少の中での、大学教育と社会との接点拡大の必要性
 中国をはじめとする国際競争の中で、高付加価値化・産業高次元化への取り組みは不可避
 環日本海国際分業体制の可能性
 自然に生まれ、豊かな感性と創造力を持つ人材（長岡地域の人材育成の実績）が、新世紀の「起業人」の条件
 県内における都市活動中心のコアとしての新潟との差別化（製造業都市としての役割）
 北イタリア地方における産業隆盛の事実（地場中小企業主体の高付加価値産業都市）

**独創企業が生まれ育つ都市
～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～**

長岡地域の先鋭性を持った産業（高付加価値電子機械製造業、食料品製造業、醸造業など）は、「粘り強さ」「思慮深さ」の人間性と「起業の精神」や「人材」を育む伝統的な精神風土に由来する、たゆまぬ努力と果敢な挑戦の「技」から生まれている。この長岡地域らしさを市民自ら主体的な取り組みでさらに発展・推進（生育）させ、価値創造型の産業地形成を図ることで、地域の自信と安定を獲得する。

<行動や姿勢>

伝統と実績に基づく、分野や規模に寄らない「価値創造型の産業地」としての長岡地域を推進・発信する。

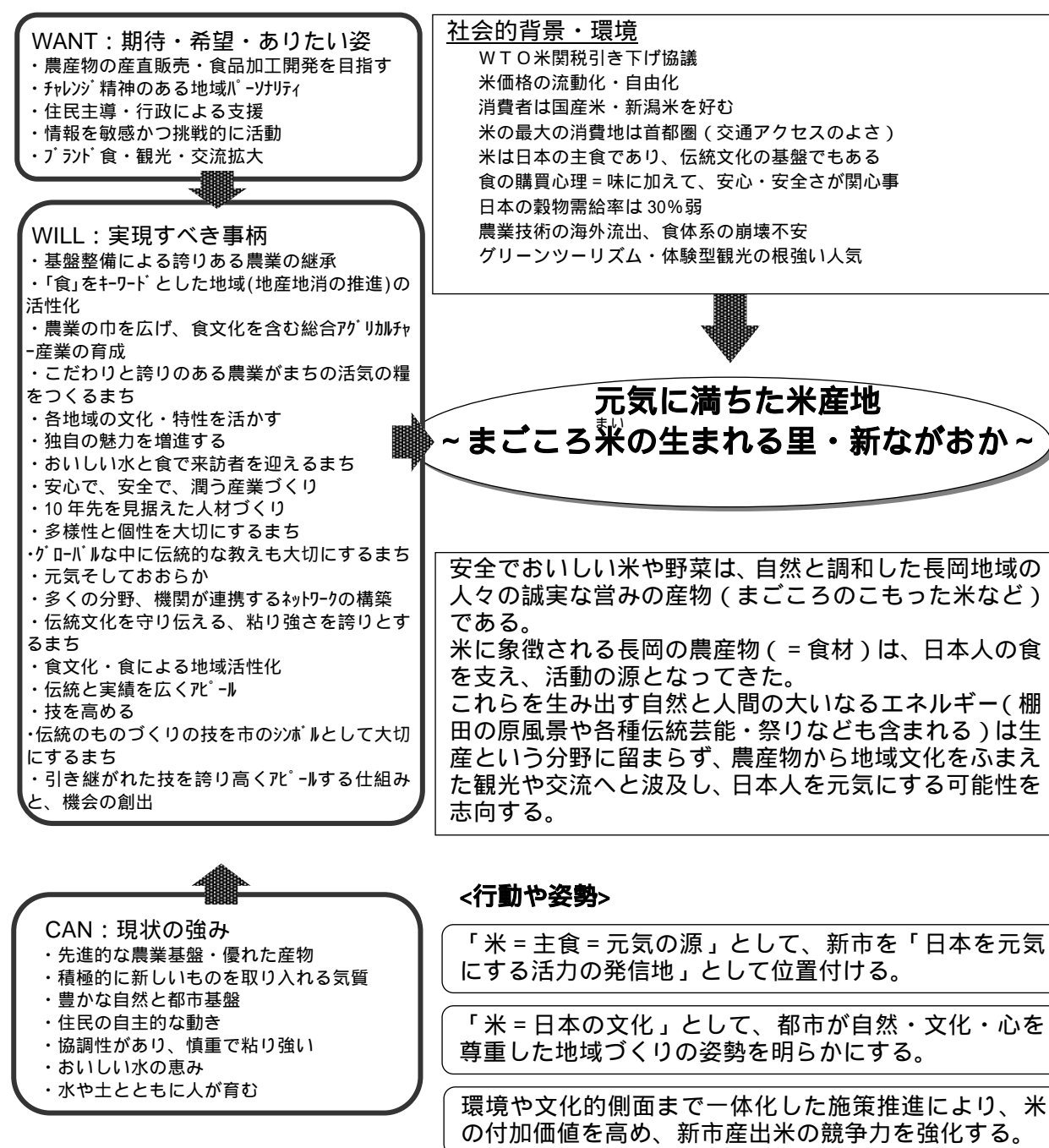
風土や自然環境と一体化・共存化する新産業のまちづくりの姿勢を明らかにする。

新たな価値創造を促す「起業精神」と「人材」の育成を、新市地域一体で推進する。

元気に満ちた米産地 まごころ^{まい}米の生まれる里・新ながおか

具体化方針「体を作る、優れた『食』産地であり続ける」に基づく「新市地域らしさ価値(ブランディング価値)」として策定したのが、『元気に満ちた米産地 まごころ^{まい}米の生まれる里・新ながおか』です。

ここには、私たちの地域が日本有数の米産地であり、日本の文化を創ってきた「米作・農業」の伝統を大切に、日本人の元気の素である「米」に託して、日本を元気にする地域でありたいという思いが込められています。もちろん、この地域らしさ価値も、「地域の人々の期待・希望・ありたい姿(WANT)」と「現状の強み(CAN)」を踏まえた「実現すべき事柄(WILL)」から策定されています。



世代がつながる安住都市 みらいびと 未来人を育む資源博物館・新ながおか

具体化方針「知をつくる人材育成と高福祉・教育環境などによる「住みやすい」地域であること」に基づく「新市地域らしさ価値(ブランディング価値)」として策定したのが、『世代がつながる安住都市 みらいびと 未来人を育む資源博物館・新ながおか』です。
 ここには、市民と行政が一体となって、高齢者から子どもまで、全ての世代が「住みやすさ」「育ちやすさ」を実感できる都市づくりを進めていこうという思いが込められています。

WANT：期待・希望・ありたい姿

- ・高福祉のまち(子ども・高齢者)
- ・豊富な自然を活かしたフィールド・ミュージアムづくり
- ・自然環境保全と都市機能充実
- ・チャレンジ精神のある地域パブリシティ
- ・地区の自立と相互の助け合い
- ・高齢者が元気になるまち
- ・住民主導・行政による支援

WILL：実現すべき事柄

- ・楽しく期待をもって子育てができるまち
- ・元気で長生きのできる暮らしを支える環境と高福祉サービスの充実
- ・老若が共働するまちづくり
- ・すべての世代が共働するまちづくり
- ・市民が主役への意識改革
- ・山のみどり(癒し)と生活のみどり(潤い)が調和したまちづくり
- ・独自の魅力を増進する
- ・地下資源の有効な活用
- ・安心・安全に住めるまち
- ・高い交通利便性を活かしたまち
- ・住環境の一環として自然の保全が位置付けられるまち
- ・癒しのまち
- ・美しい河川、森林を次世代に残す
- ・豊かな自然の保全と積極的な活用
- ・身近な自然がうれしいまちづくり
- ・10年先を見据えた人材づくり
- ・グローバルな中に伝統的な教えも大切にするまち
- ・多様性を許容する小単位コミュニティ
- ・身近なコミュニティ拠点の整備
- ・小コミュニティのネットワークがつながり交流するしかけをつくるまち
- ・行政と住民の役割分担
- ・個を大切にしつつ効率的な行財政運営の実現
- ・官民協力の時代にあった斬新な行政サービスの展開
- ・元気そしておおらか
- ・多くの分野、機関が連携するネットワークの構築
- ・伝統に根ざし各地域が調和する。

CAN：現状の強み

- ・豊かな自然と都市基盤
- ・教育的環境・人材が育つ風土
- ・協調性があり、人情に厚い地域パブリシティ
- ・元気な高齢者・優れた人材
- ・住民の自主的な働き

社会的背景・環境

急速な高齢化の中での老人福祉の重要性の増大
 中年世代の最大の不安要因は、老後の保障
 少子化の中での出産・子育て支援の重要性の増大
 次世代を担う育児・教育への関心の高まり
 男女共同参画社会の実現、女性の社会進出における育児・教育支援の重要性
 経済・雇用を拡大する21世紀型生活産業としての福祉・育児産業
 雇用とともに福祉・教育環境を重視する定住地の選択傾向
 (Uターン、セカンドライフ移住など)

世代がつながる安住都市 みらいびと
 ~未来人を育む資源博物館・新ながおか~

高速交通網の整備により首都圏へは至近な時間距離にありながら、信濃川の水系と東山や西山の山地で構成される長岡地域は、利便性、機能性と同時に水や緑の資源が豊かで、健全な生活環境を身上とした都市である。この生活環境と同時に「人材育成」の環境と実績から、高齢者や子ども(未来人=未来を生きる人)などの過去と未来の歴史をつなぐ人々にとっての「住みやすさ」「育ちやすさ」を志向することによって、世代がつながる安定と安らぎ住まい都市を発信する。

<行動や姿勢>

行政・市民が一体となって子育て支援や高齢者福祉を推進し、「住みやすさの代表地域」としての新市を発信する。

生活の背景となる川や森林を守り育てることで「住みやすさ」の恒久化を図る。

子どもを育むための、様々な体験を生み出す地域資源の多様さ(資源博物館)を活用した、「自分が育つ」地域づくりを志向する。

世界をつなぐ和らぎ交流都市 「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか

具体化方針「自然・歴史・文化を活かした交流の地域となること」に基づく「新市地域らしさ価値(ブランディング価値)」として策定したのが、『世界をつなぐ和らぎ交流都市 「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか 』です。

ここには、私たちの地域が誇るべき歴史と伝統を持ち、交通の要衝でもあることから、それらを資源に日本・世界の人々と交流し、相互に高めあいつつ調和していこうという思いが込められています。

WANT：期待・希望・ありたい姿

- ・「ものづくり」がビジョン都市を目指す
- ・新潟県の中心になりたい
- ・滞在型の観光資源
- ・豊富な資源を活かしたフィールドミュージアムづくり
- ・自然環境保全と都市機能充実
- ・それぞれの文化を結びつけてより大きな価値を生む
- ・住民主導と行政による支援
- ・ブランド「食・観光・交流拡大
- ・観光資源として全国発信

WILL：実現すべき事柄

- ・地域に残る文化を結び、新たな文化を育むまち
- ・各地域の文化を尊重し、結びつけて保全活用
- ・誠実な率直性と確かさ
- ・行政と住民の役割分担
- ・各地域の文化・特性を活かす
- ・独自の魅力を増進する
- ・長岡独自の交通、都市機能ネットワークの構築
- ・高い交通利便性を活かしたまち
- ・癒しのまち
- ・美しい河川、森林を次世代に残す
- ・豊かな地域の個性をつなぎ、長岡らしさをつくる
- ・おいしい水と食で来訪者を迎えるまち
- 「食」をキーワードとした地域の活性化
- ・山と里と都市の調和
- ・身近な自然がうれいしまちづくり
- ・山のみどり(癒し)と生活のみどり(潤い)が調和したまちづくり
- ・多様性と個性を大切にすまち
- ・交通網の再構築
- ・グローバルな中に、伝統的な教えも大切にすまち
- ・地域文化と人的資源の活発な交流が見られるまち
- ・地域文化の保全と活用を図る仕組みとルートがあるまち
- ・小さいながら効率的な行財政運営の実現
- ・官民協力の時代にあった斬新な行政サービスの展開
- ・市民が主役への意識改革
- ・伝統と実績を広くアピール
- ・多くの分野、機関が連携するネットワークの構築
- ・食文化・食による地域活性化
- ・商店街の再生に向けての空店舗の有効活用
- ・各地の多様な価値を尊重する観光開発
- ・豊かな自然の保全と積極的な活用

CAN：現状の強み

- ・多様な産業と郷土文化が息づく
- ・個性的な地域、人と自然が共生してきた歴史
- ・長岡地域の力は豊かな資源
- ・古き良きもの
- ・恵まれた道路交通網と観光資源
- ・それぞれの地球文化資源
- ・住民の自主的な動き

社会的背景・環境

文化立国への取り組み、世界に向けての文化を資源とする産業の可能性
 日本文化のアイデンティティへの関心の高まり
 地域文化・郷土文化再評価の気運
 滞在型観光の隆盛
 ありのままの自然・文化の評価の高まり
 「癒し」ブーム
 人間らしい、余裕を持った「スローフード」「スローライフ」の提唱
 おいしいもの、体に良いもの(食文化)や日本酒への関心の高まり
 将来的な環日本海交流の拡大
 北陸新幹線の延伸による近畿圏との時間短縮
 (時代的閉塞感のなかでの)近世史への関心の増加

**世界をつなぐ和らぎ交流都市
 ~「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか~**

長岡地域は古くから交通の要衝として栄え、様々な人々や物資が行き交った地である。長岡には、他地域との交流と融合の歴史がある。豊かな自然を背景にした各地の文化は独自性があり、日本各地、世界の人々をつなげる受信力と発信力を内包している。一方で長岡は戦火に遭いながらも、人の営み(ものがたり)によってつながれてきた心の歴史都市である。長岡地域が志向する交流とは単なる活況ではなく、精神文化や人間性が生み出す落ち着きや温かさのある和らぎの交流である。

<行動や姿勢>

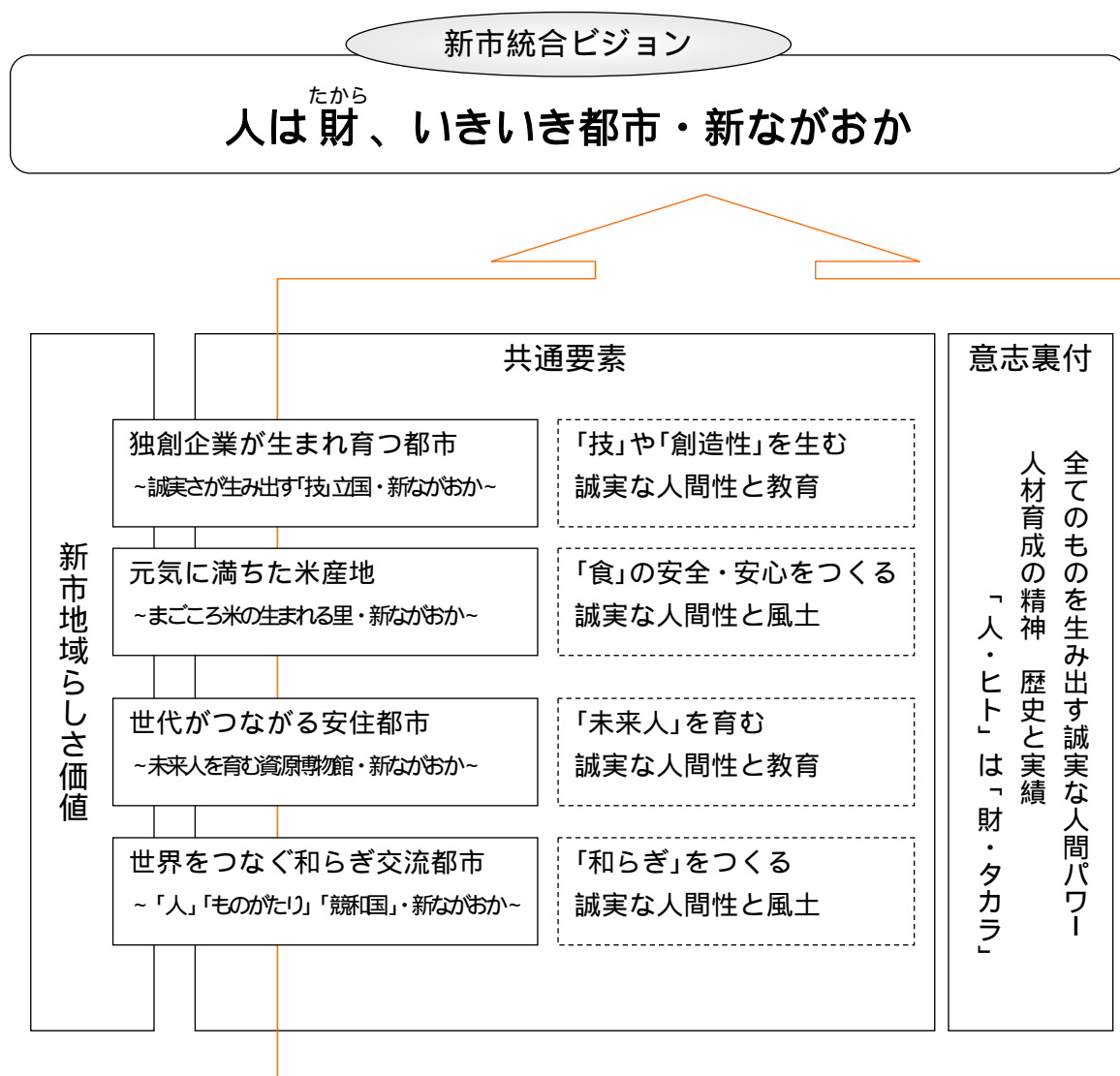
新市各地の「技」「食」「人」を地域資源として活用・連携し、日本・世界の人や文化が交流するまちを推進する。

新市各地が、持ち味の競演を行いながら、より高水準の交流と融和の地域(競和国)を目指す姿勢を明らかにする。

(7) 新市統合ビジョン～新市のスローガン

4つの地域らしさ価値は、いずれも長岡地域の住民の特性に即したものととして策定されています。今後、「地域らしさ価値」を実現し、また、次世代の人材を育成していくことの重要性もふまえて、4つの「地域らしさ価値」を統合し、新市の基本姿勢となるビジョン(新市を強くアピールするためのスローガン)を以下のように設定しています。

新市統合ビジョンには、長岡地域が、これまでも人材育成の歴史と実績を持ち、数多くの人材を輩出したことを踏まえ、今後も「人・ヒト」こそ「財・タカラ」であること、住民活動によって今後も長久の繁栄を獲得しようという意志が込められています。



(8) 重点実現項目

独創企業が生まれ育つ都市 誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか

実現すべき事柄：W I L L

見極める<アイデンティティの確立・一貫性>

製造業主体の産業
 伝統とものづくりの技を市のシンボルとして大切にすまち
 各地域の文化・特性を活かす
 製造業をきっかけに全産業への振興を目指す
 安全・安心で、潤う産業づくり
 多様性と個性を大切にすまち
 誠実な率直性と確かさ
 伝統文化も守り伝える、粘り強さを誇りとするまち

発信する<情報発信力強化・機会の多様化>

独自の魅力を増進する
 恵まれた交流空間を活かした新産業の育成
 多くの分野、機関が連携するネットワーク構築
 伝統と実績をアピール

育てる<人材育成・ブランド育成>

産官学が連携した新高度技術産業づくり
 産官学連携によるものづくり
 知識、技術の集約総合化への取り組み
 10年先を見据えた人材づくり
 新たな起業への支援体制の充実
 チャレンジャーに地域でエールを送るまち
 技を高める
 交通拠点を活かした流通業の拡充

現状の強み：C A N

交通至便
 技術の蓄積
 教育的環境、人材が育つ風土
 協調性があり慎重で粘り強い

住民の自主的な働き
 理論的、実証的な性格
 水や土とともに人が育む

見極める

新ながおかが誇る技と人をネットワークする匠の国を創り上げる
 ~ 地域が誇る産業と技を核として地域と人とを連携する ~

発信する

新しいビジネスモデルで made in NAGAOKA の魅力を世界に発信する
 ~ 社会を常にリードする価値創造型製造業の育成と振興 ~

育てる

市民チャレンジャーの成功と雇用を支える新たな起業促進の風をおこす
 ~ 起業やベンチャー企業育成を支援するシステムの整備・充実 ~

育てる

未来のエジソンを生む人材教育・人材育成の推進
 ~ 産業革新に貢献する人材育成を目指した教育と社会支援の実施 ~

元気に満ちた米産地 まごころ米の生まれる里・新ながおか

実現すべき事柄：WILL

見極める<アイデンティティの確立・一貫性>

- 各地域の文化・特性を活かす
- 安全・安心で潤う産業づくり
- 多様性と個性を大切にすまち
- 伝統文化も守り伝える粘り強さを誇りとするまち
- 伝統とものづくりの技を市のシンボルとして大切にすまち

発信する<情報発信力強化・機会の多様化>

- 「食」をキーワードとした地域（地産地消の推進）の活性化
- こだわりと誇りのある農業がまちの活気の糧をつくるまち
- 独自の魅力を増進する
- おいしい水と食で来訪者をむかえるまち
- グローバルな中に、伝統的な教えも大切にすまち
- 元気そしておおらか
- 多くの分野、機関が連携するネットワークの構築

育てる<人材育成・ブランド育成>

- 基盤整備による誇りある農業の継承
- 農業の幅を広げ食文化を含む総合アグリカルチャー産業の育成
- 10年先見据えた人材づくり
- 技を高める
- 食文化・食による地域活性化

現状の強み：CAN

- 先進的農業基盤と優れた産物
- 積極的に新しいものを取り入れる気質
- 豊かな自然と都市基盤
- 住民の自主的な働き
- おいしい水の恵み
- 水や土とともに人が育む

見極める

「新ながおか元気印ブランド」の創造による「食の付加価値」の確立
 ~ 地域農産物や酒、農産加工品、郷土料理を組み合わせた
 新ながおかメニューの開発 ~

発信する

おいしさと安全・健康をキーワードとする「新ながおか料理」の発信
 ~ おいしさに加え、健康増進、安全・安心等の
 生活価値観に即したブランドを開発し、
 全国に向けて強く発信することによって日本の食卓を変える ~

育てる

蛸が舞い、人の豊かな営みが展開する「食」「農」のユートピアを生み出す
 ~ 信濃川をはじめとする豊かな水や土壌を守り、
 その恵みによる米作りや新しい“食”のあり方を
 提案する「スローフード（風土）」の振興 ~

世代がつながる安住都市 ^{みらいびと} 未来人を育む資源博物館・新ながおか

<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 実現すべき事柄：W I L L </div>	
<p>見極める<アイデンティティの確立・一貫性> 楽しく期待を持って子育てできるまち 元気で長生きができる暮らしを支える環境と高福祉サービスの充実 山(癒し)のみどりと生活(潤い)のみどりが調和したまちづくり 安心、安全に住めるまち 高い交通利便性を活かしたまち 住環境の一環として自然の保全が位置づけられるまち 癒しのまち 豊かな自然の保全と積極的な活用 身近な自然がうれしいまちづくり 伝統とものづくりの技を市のシンボルとして大切にするまち 身近なコミュニティ拠点の整備</p> <p>発信する<情報発信力強化・機会の多様化> 「市民が主役」への意識改革 グローバルな中に、伝統的な教えも大切にするまち 元気、そしておおらか 多くの分野、機関が連携するネットワークの構築 伝統に根ざして地域が調和する 伝統と実績をアピール</p> <p>育てる<人材育成・ブランド育成> すべての世代が協働するまちづくり 10年先を見据えた人材づくり 多様性を許容する小単位コミュニティ 個を大切にしつつ効率的な行政サービスの展開</p>	
<div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; display: inline-block;"> 現状の強み：C A N </div>	
<p>豊かな自然と都市基盤 協調性があり、人情に厚い 地域パーソナリティ 教育的環境、人材が育つ風土</p> <p style="text-align: right;">元気な高齢者、優れた人材 住民の自主的な動き</p>	
見極める	<p>「生きる楽しみ」「育つ喜び」が実感できる生活環境の創出 ~すべての世代が住みたくなる住環境の実現~</p>
発信する	<p>「元気に老いる」熟年力を活かしたまちづくりの推進 ~身体健康だけでなく、精神的な活力を活かす場を創り、 すべての世代が元気なまち~</p>
発信する	<p>地球を想う「^{みらいびと}未来人」育成・発信地域の創出 ~子どもの力・自立した活動を地域全体で伸ばし、発信する地域づくり~</p>
育てる	<p>「子育て・教育」の分野で日本のモデル地域となる 「21世紀の米百俵プログラム」の開発・推進 ~地域の宝、子どもたちをみんなで育てるまちづくり~</p>

世界をつなぐ和らぎ交流都市 「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか

実現すべき事柄：WILL

見極める<アイデンティティの確立・一貫性>
 長岡独自の交通、都市機能ネットワークの構築
 高い交通利便性をいかしたまち
 癒しのまち
 各地の多様な価値を尊重する観光開発
 山と里と都市の調和
 身近な自然がうれしいまちづくり
 山(癒し)のみどりと生活(潤い)のみどりが調和したまちづくり

発信する<情報発信力強化・機会の多様化>
 地域に残る文化を結び、新たな文化を育むまち
 各地域の文化を尊重し、結びつけて保全活用
 美しい河川、森林を次世代に残す
 豊かな地域の個性をつなぎ、長岡らしさをつくる
 おいしい水と食で来訪者をむかえるまち
 「食」をキーワードとした地域の活性化
 豊かな自然の保全と積極的な活用
 グローバルな中に、伝統的な教えも大切にすまち
 地域文化と人的資源の活発な交流が見られるまち
 伝統と実績を広くアピール

育てる<人材育成・ブランド育成>
 地域文化の保全と活用を図る仕組みとルートがあるまち
 官民協力の時代にあった斬新な行政サービスの展開
 食文化、食による地域活性化

現状の強み：CAN

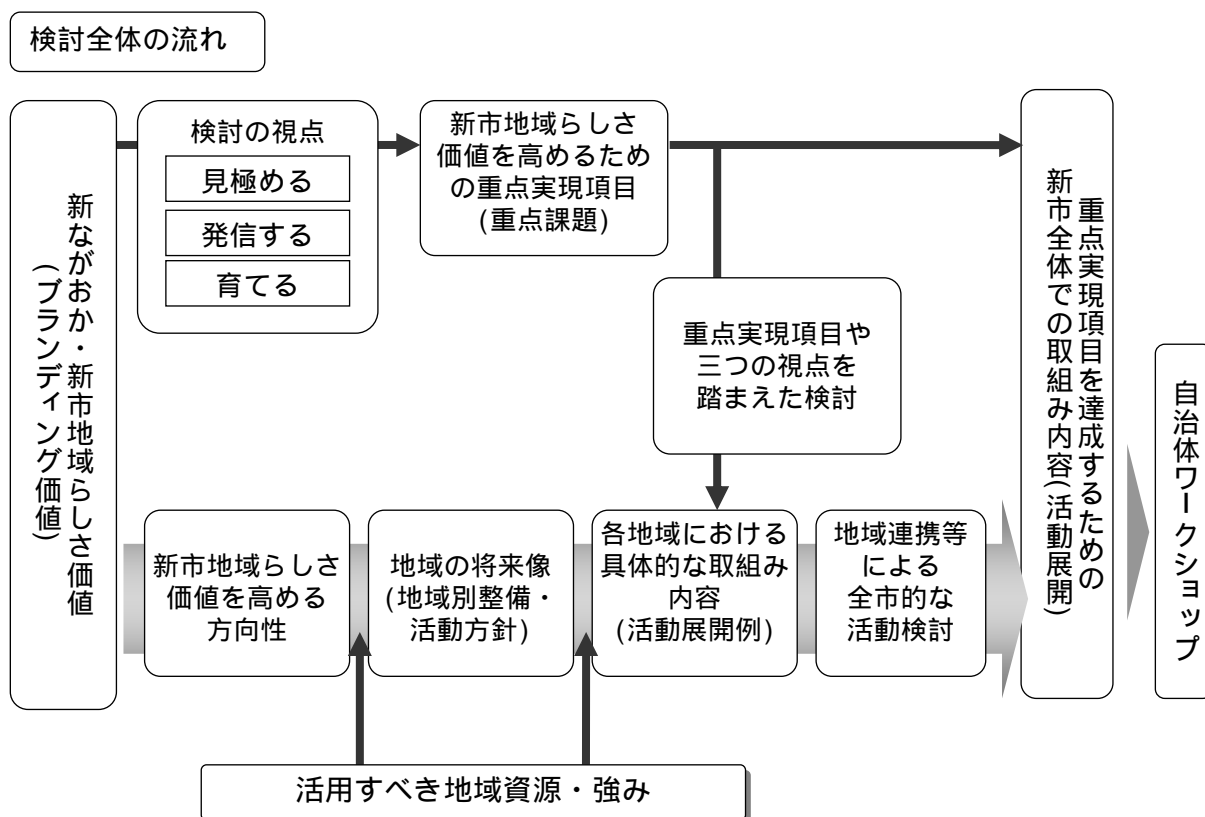
地域文化の保全と活用を図る 仕組みとルートがあるまち 食文化、食で地域活性化	協調性があり、人情に厚い 地域パーソナリティ
--	---------------------------

見極める	地域資源を活用した新ながおか コンベンション・シティの創設 ～地域資源・特性を活用した地域内外の交流機会の創設～
発信する	すべての市民が「新ながおか親善大使」 ～地域の伝統文化、魅力をテーマとしたイベントの開発と実施～
育てる	「暮らしたい」「働きたい」「遊びたい」・・・魅力あるまちを目指す ～すべての市民が「新ながおか」に誇りを持てる都市の実現～

コンベンション・シティ：種々の会議やイベントを開催する環境を整え、それらの開催をもって地域発展の基礎としている都市

(9) 各地域の活動方針と展開の例

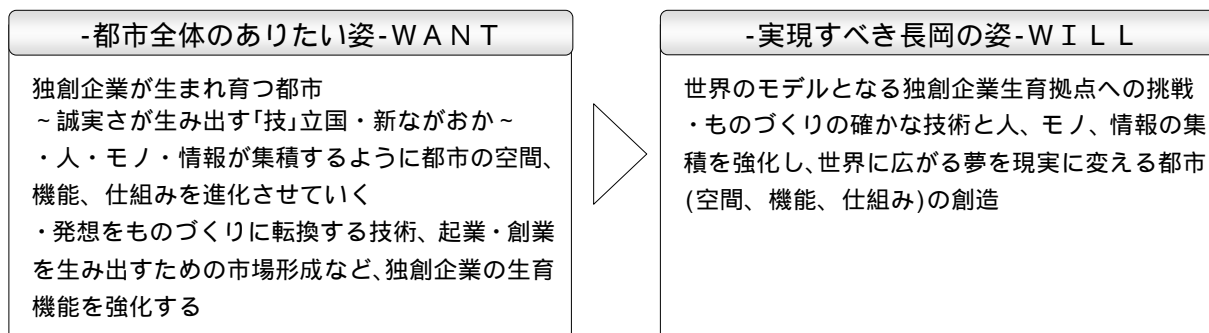
ここでは、市民の思いを材料とした「新市地域らしさ価値」を高めるために、各地域での将来像（整備・活動方針）と取組み（活動展開）を各地域の自治体職員の参加により、各分野の専門性を活かしながら具体化を行った例を示します。



(10) 地域の夢

長岡地域

独創企業が生まれ育つ都市～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～



実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
<p>ものづくりや起業を支える産学官の連携を含む新たな地域社会ネットワークづくりやビジネス環境の整備</p> <p>・先行的な事業ニーズ・シーズの把握に向けての情報収集・情報交換活動の実践</p> <p>・地域内と地域外・技と技、技と販売等の多様な交流機会をコーディネートする仕組みづくり</p> <p>・知的インフラ整備等のビジネス環境づくり</p> <p>・創造的なインキュベーション及び革新的企業経営が促進される弾力的な地域環境づくり</p>	<p>地元企業(製造業等)の技術力を国内外へPRする見本市等の多角的情報発信を強化</p> <p>ドイツのマイスター制度¹を発展させた職人・技術者集団による夢のあるものづくりの実現と発信</p> <p>21世紀COE²長岡技科大プロジェクトと連携するなどゼロエミッション(廃棄物ゼロ)、新エネルギー活用等自然と共生する環境循環型企業の支援と発信</p>	<p>オンリーワン・ニッチトップ³企業を促進する経営、技術、法務等、産業支援機能を強化・高度化</p> <p>産学協働で取り組む異業種交流の次世代に向けた促進プログラムの開発</p> <p>世界的視野にたった理数系、技術系に照準を合わせた実践的教育の取り組み</p> <p>職人や技術者、企業家等、産業界の人材が学校教育に参加する仕組みづくり</p>

- 1 マイスター制度 : 職人の技能・理論を実践と教育で培う制度
- 2 21世紀COE : 世界最高水準の大学づくりに向けた、研究教育拠点の形成を支援する事業(文部科学省)
- 3 オンリーワン企業 : 他に真似のできない独自の優れた技術を持つ企業
- ニッチトップ企業 : 製造業を中心とした特定の製品分野において、全国で高いシェアを獲得している企業

長岡地域

元気に満ちた米産地～まごころ米の生まれる里・新ながおか～

-都市全体のありたい姿-WANT

元気に満ちた米産地
～まごころ米の生まれる里・新ながおか～
・地域の食の最前線として安全性・品質・量に関わる生産体制に裏付けられた食への誇りを持つ農産加工品の開発
・地域農産物を活用した食の安定供給による市場開拓と消費の拡大
・全国への情報発信など、食に関するあらゆる分野の展開を可能とする地域として、新市の食全般を支える

-実現すべき長岡の姿-WILL

日本の食文化の誇りを育て、伝統を活かした「新ながおかブランド」の食の拠点として全国へ展開
・たゆまぬ研究と歴史に支えられた、生産から消費、市場拡大まで、日本を元気にする、あらゆる食の先進モデル地域としての展開を強化

実現していくための活動・展開

見極める

研究に裏付けされた技術力の普及と生産履歴の明確化による消費者への信頼性の向上
長岡発信の超高压処理技術等の先端工業技術の活用などによる新しい安全安心の食品加工・開発の強化
長岡米や長岡野菜を使った長岡でしか味わえない新しい名物郷土料理・特産品の開発と販売力の強化

発信する

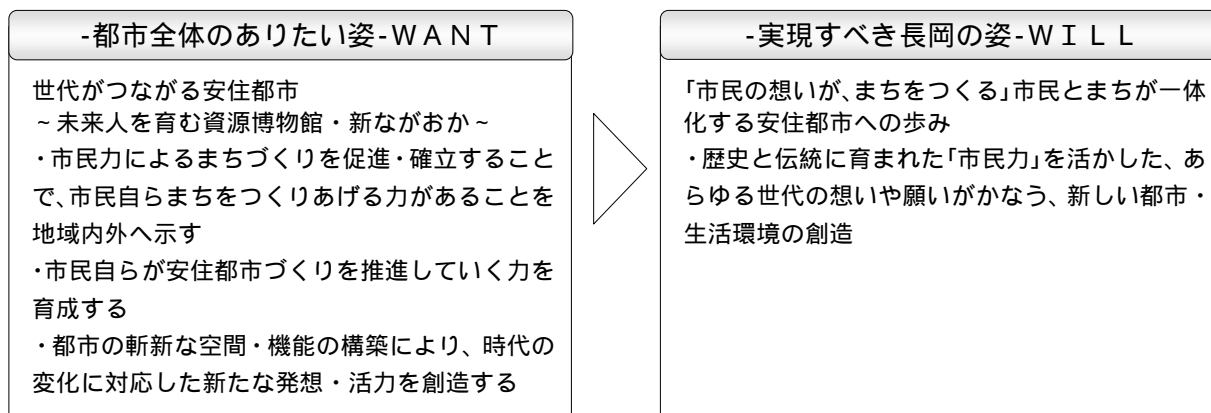
健康食品産業や外食チェーン等とタイアップしたブランド品の普及、促進
美しい農村地域と一体となった酒や農産物のブランド開発と発信

育てる

中山間地域をはじめ、地域の環境、活力を守り支えるための「農業地域再生」を目指す取り組みの実現
研究機関・大学と連携したバイオテクノロジー等、新技術の活用による高付加価値の農産加工業の育成
環境配慮・地域循環型の生産・消費・生活の推進
農業体験等により農業の役割を理解し、環境の保全を促す心を育成
将来の農業を担う人材育成と人材確保

長岡地域

世代がつながる安住都市～未来人を育む資源博物館・新ながおか～

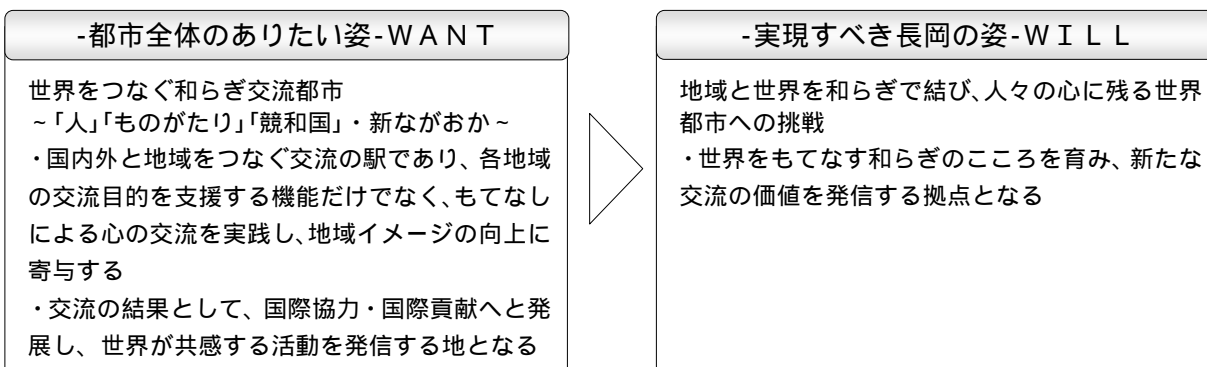


実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
<p>市民の声や想いを集める仕組みや地域社会等の情報収集・情報交換の仕組みを確立</p> <p>市民の提案や社会ニーズを施策へ反映、展開が可能な仕組みづくりを推進</p> <p>都市の魅力向上、交流機会拡大による若者の活力が集まるまちづくりの実践</p>	<p>医療・福祉・教育など多様な分野ですべての世代が活発に交流できるコミュニティの形成</p> <p>NPO・ボランティアを活用した福祉の拡充による「寝たきりゼロ」への挑戦</p> <p>子どもたちの豊かな才能や発想を社会に反映させる仕組みづくり</p> <p>子育て・教育環境日本一のまちづくり</p>	<p>自然体験や人との交流を通して豊かな心と強い精神を持つ子どもが育つ環境づくりを推進</p> <p>スクールカウンセラー等の充実などによる心の安定や感性の豊かな子どもの能力を育む環境づくりを推進</p> <p>子どもたちの才能を早期に発見し、地域一体となって伸ばす地域独自のカリキュラムづくりを充実</p> <p>専門的な職業経験を生かせるボランティア・NPO活動やコミュニティビジネスの場の創出</p>

長岡地域

世界をつなぐ和らぎ交流都市～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～



実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
<p>新ながおかの交流拠点としての先進的都市機能の充実や「和らぎ交流」を支えるもてなしの基盤・体制の充実</p> <p>国際規模の見本市の開催等が可能なコンベンション機能が充実したまちづくり</p> <p>既存の観光分野にとらわれない、ビジネス面等での新たな交流メニューの開発、もてなし交流機会づくり(長岡人の営み(産業・生活)を交流資源とする取り組み、田植え、稲刈り、食・・・)</p> <p>地域の資源や歴史を再発見する「地元学」による新たな交流価値の発見</p>	<p>国際交流・国際貢献を通じて世界平和に役立つ交流の推進とメッセージの発信</p> <p>米百俵、花火、・・・様々な歴史、文化資源にみる“長岡の心”の魅力を世界に発信</p>	<p>長岡の資源を活かした新たな観光ブランドの創出</p> <p>再び訪れたいくなるまちとしての魅力を高めるため地域一体となった「もてなし」向上のためのプログラムの開発と実施</p> <p>若者をひきつける魅力的な都市文化の再構築</p>

中之島地域

独創企業が生まれ育つ都市～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～

-都市全体のありたい姿-WANT

独創企業が生まれ育つ都市
～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～
・高速交通体系に立地した流通機能を最大限に活かしながら、流通拠点として独創企業の生育を支援する

-実現すべき中之島の姿-WILL

抜群の広域アクセス性・立地環境を活用した独創企業支援地域
・抜群の流通機能と豊かな生活環境から生まれる豊富な労働力を活かし、生育する新産業等の独創企業を支える地域づくりを行う

実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
優れた広域交通アクセスルートによる、空港・港を視野に入れた地域流通革命への挑戦 企業の活発な技術交流や連携推進の支援体制づくり	流通拠点としての環境づくりと、立地優位性の強化・発信	生涯学習拠点の活用による、想像力のある企業人育成を支援する取り組み活動

元気に満ちた米産地～まごころ米の生まれる里・新ながおか～

-都市全体のありたい姿-WANT

元気に満ちた米産地
～まごころ米の生まれる里・新ながおか～
・広域なほ場で様々な良質な農産物生産基地を推進・PR
・人材力が生産の源であることを強く訴求

-実現すべき中之島の姿-WILL

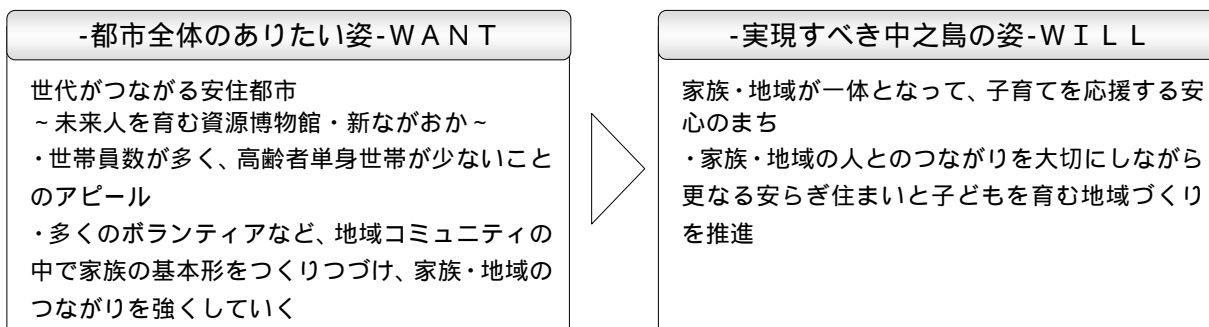
若く元気な住民パワーによる安全・安心・美しい食産基地
・地域づくりに積極的に取り組む住民力(かあちゃんパワー)による、安全・安心・新鮮な農産物の供給地域

実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
地域営農システムの強化と複合経営の推進による自立農業の確立 生産履歴活動・減農薬減化学肥料栽培の拡充による高付加価値米の生産促進	大口れんこんなど安全・新鮮な素材と料理法をセットしたPRによる、地産地消活動の推進 ハスの花など固有の田園風景を活用した「観せる食産基地づくり」と発信	生産から販売まで、魅力ある農業を担う多才な人材の育成活動

中之島地域

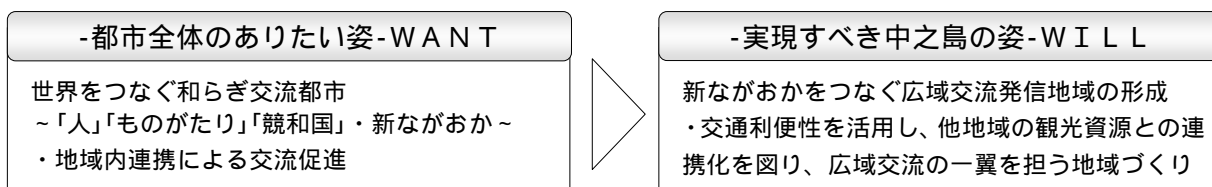
世代がつながる安住都市～未来人を育む資源博物館・新ながおか～



実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
<p>多様な住民組織とネットワークを活用した、参画と協働のまちづくりと生活支援の仕組みづくり</p> <p>総合子育て支援センター、育児ボランティアを活用した地域ぐるみの子育て支援の仕組みづくり</p>	<p>家族・地域のつながりのモデル地域としての活動と誇りの発信</p>	<p>全ての世代交流、生活支援の仕組みを支える地域ボランティアの継続的な育成活動</p>

世界をつなぐ和らぎ交流都市～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

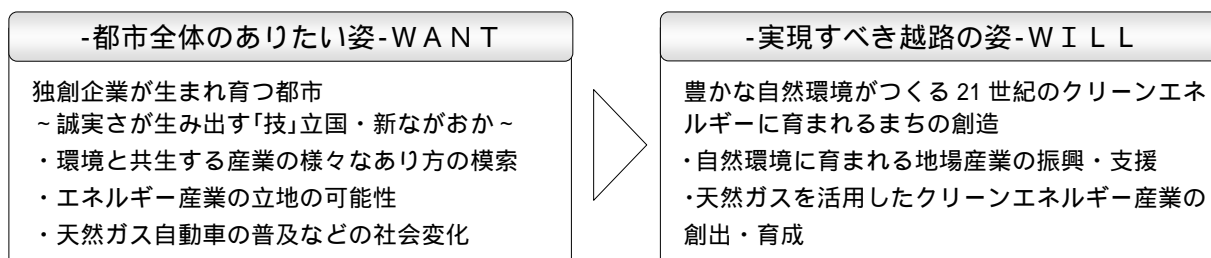


実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
<p>多彩な農産物による「食」やミニ農園から生まれる「農交流」など、「食と農」を基本とした交流の創造</p>	<p>食と伝統芸能のイベントの企画と発信</p>	<p>「食」による「おもてなし」交流を促進する、住民パワーの育成と体制づくり</p>

越路地域

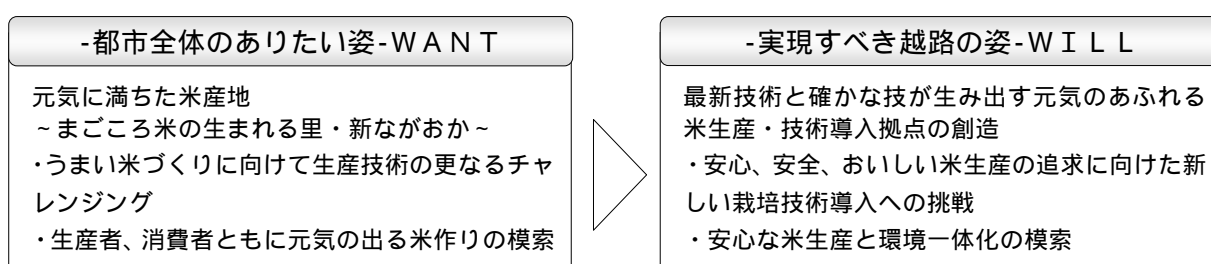
独創企業が生まれ育つ都市～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～



実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
<p>企業のクリーンエネルギー利用の促進</p> <p>資源循環型社会を目指した住民・企業・行政が共同で取り組む環境にやさしい実践活動の充実・拡大</p>	<p>自然環境保護活動・クリーンエネルギー導入促進による、クリーンなまちのイメージ発信</p>	<p>天然ガス自動車普及や新エネルギー導入にかかわる啓発・教育活動の推進</p> <p>企業による地域貢献活動と住民活動の一層の一体化に向けた啓発と活動の展開</p>

元気に満ちた米産地～まごころ米の生まれる里・新ながおか～

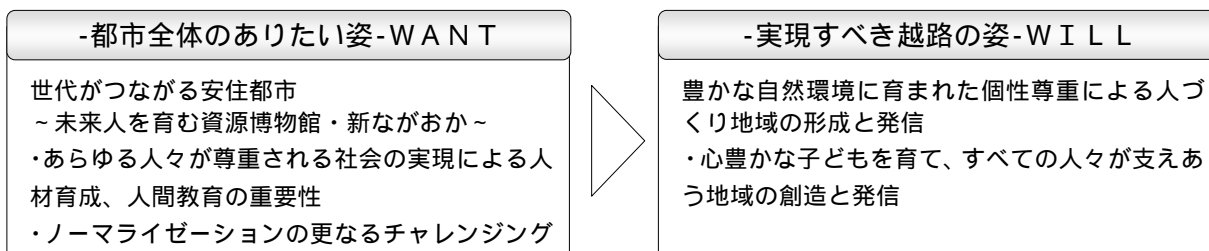


実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
<p>生産者と専門家、行政が連携することにより最先端栽培技術の開発・導入支援と普及活動の促進</p> <p>生産者の顔が見える販売体制づくりと、需要安定を目指した契約栽培体制の確立</p>	<p>新潟の米を代表する新たなブランドの確立と、米関連食品のPR展開</p> <p>確かな技術と、安全・安心の生産環境の発信</p>	<p>生産組織の法人化促進と、農業従事者の若がりによる元気な米づくり地域の創出</p>

越路地域

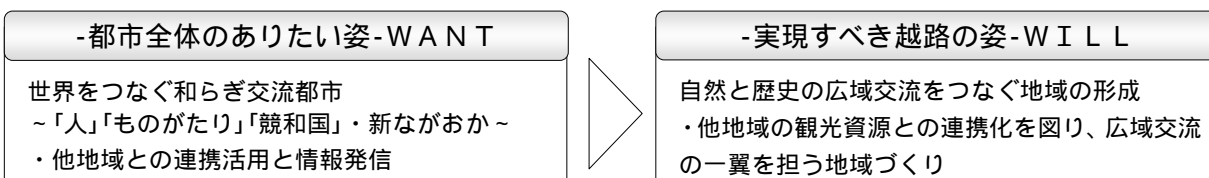
世代がつながる安住都市～未来人を育む資源博物館・新ながおか～



実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
<p>自然・産業・地域コミュニティが融合した、住みやすさ日本一の地域づくり 高齢者・障害者と地域の人々の交流システムづくり</p>	<p>“ノーマライゼーション先進地域”としての、自然・生活環境、地域福祉活動の発信</p>	<p>すべての世代が自然と親しむ、グループ活動等の育成 国際交流促進による、子どもたちの国際感覚醸成</p>

世界をつなぐ和らぎ交流都市～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

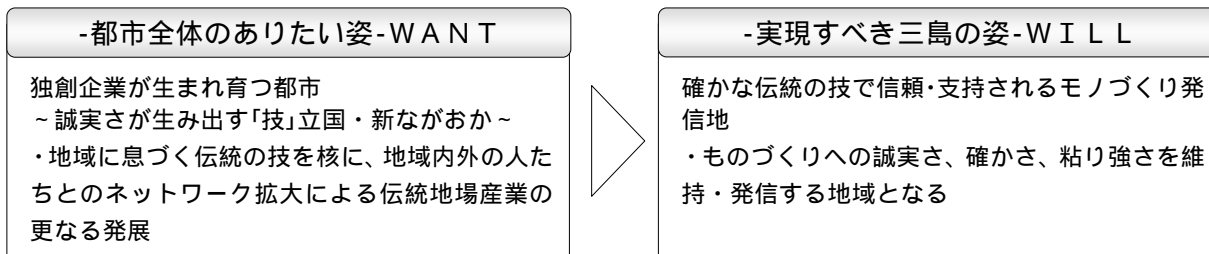


実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
<p>観光スポットの魅力向上にむけたコースづくりによる、新たな観光プログラムの創出</p>	<p>地域の資源を活用した、歴史探訪プログラムの開発・発信</p>	<p>地域文化・日本文化を伝える活動や家庭で外国人を受け入れる活動の推進によるもてなし地域づくり</p>

三島地域

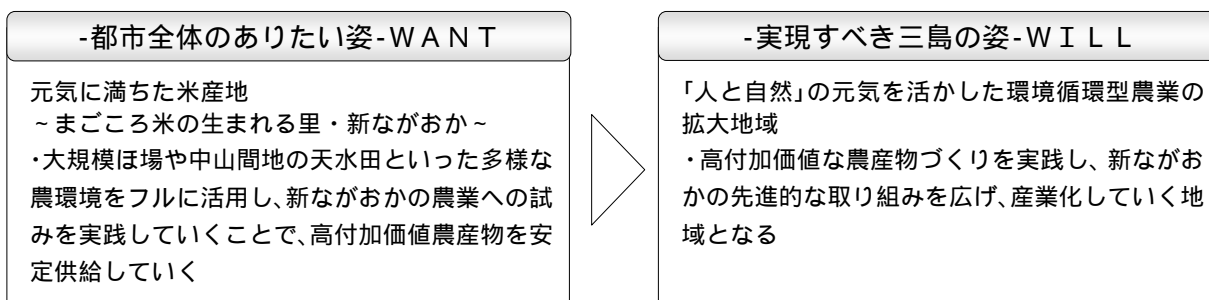
独創企業が生まれ育つ都市～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～



実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
<p>まちづくり団体を核とした地域内ネットワークづくりによる、地場産物の提供拡大 伝統食品の新技术・高付加価値新商品開発の展開</p>	<p>酒蔵ネットワークづくりの推進とイベント等開催による酒づくり地域のPR展開 地域産業としての食をテーマとした情報発信機能の強化</p>	<p>鋸鍛冶・杜氏など、伝統の技を次代につなげる人材受け入れ体制の拡充と、活躍の場づくり 総合学習へのテーマ提供、伝統技術の指導体制づくりによる子どもたちに向けた地域産業の魅力づくり</p>

元気に満ちた米産地～まごころ米の生まれる里・新ながおか～

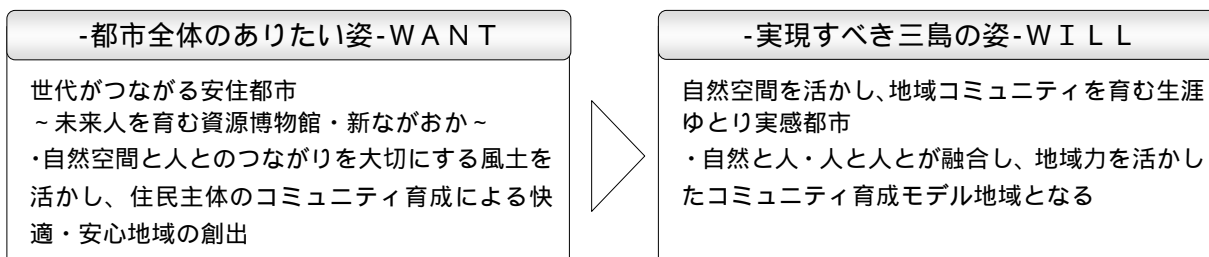


実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
<p>土づくり、栽培技術の開発など、環境重視・循環型農業の取り組み強化、拡大 高付加価値米の生産・加工・販売システムづくりによる、中山間地域の活性化</p>	<p>学校給食をはじめとした地元産食材利用の展開による、地産地消の拡大とモデル化</p>	<p>地域営農体制の強化や生産組織・担い手の育成による循環型農業地域づくり</p>

三島地域

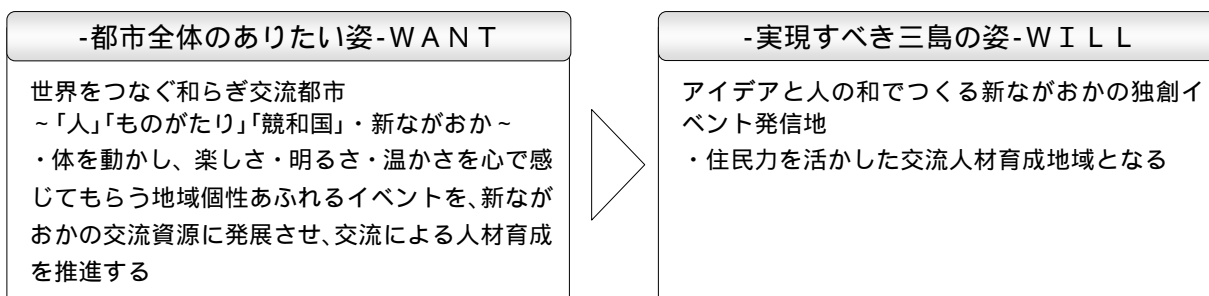
世代がつながる安住都市～未来人を育む資源博物館・新ながおか～



実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
<p>全ての世代が快適に生活できるゆとりの住環境づくり 地域に開かれた学校を活用し、地域住民による教育環境づくり</p>	<p>住民主体による里山など身近な自然の保全とまちづくりの手法を活用した、生活の質を高める新たなスタイルの発信 自然空間と地域コミュニティを活かした「子育て・福祉最適環境づくり」のモデル化と発信</p>	<p>世代間・地域間の交流(教育・福祉活動)を促進するコミュニティづくり 住民が主体となったまちづくりが実現できる、人材・組織育成システムの創出</p>

世界をつなぐ和らぎ交流都市～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

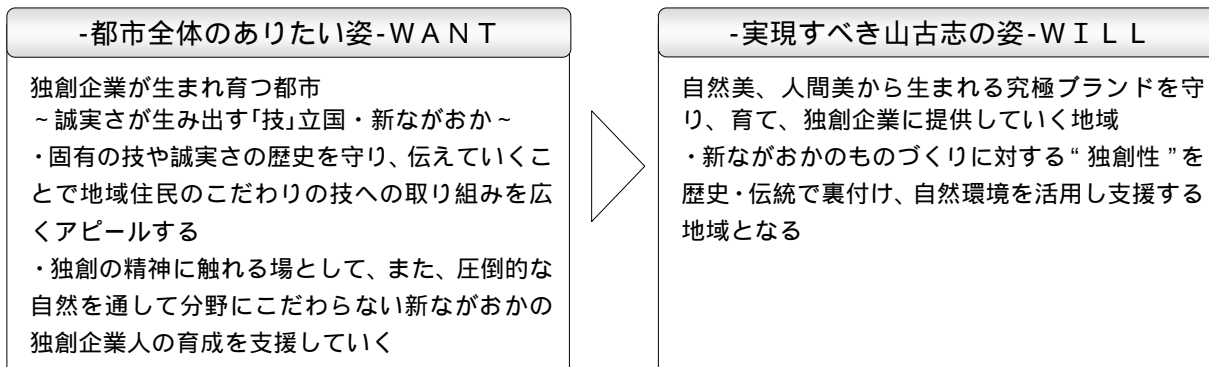


実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
<p>新市民に憩いを提供する、自然とのふれ合い・交流拠点づくり まちづくり団体、スポーツ・文化団体の活動を活かした自由で新たなイベントをおこす、人材・組織づくり</p>	<p>新たな独創的イベント等による人と人のネットワーク化と地域ファンづくり</p>	<p>地域内外との交流を促進するための、子どもからの人材育成と交流の場の創出</p>

山古志地域

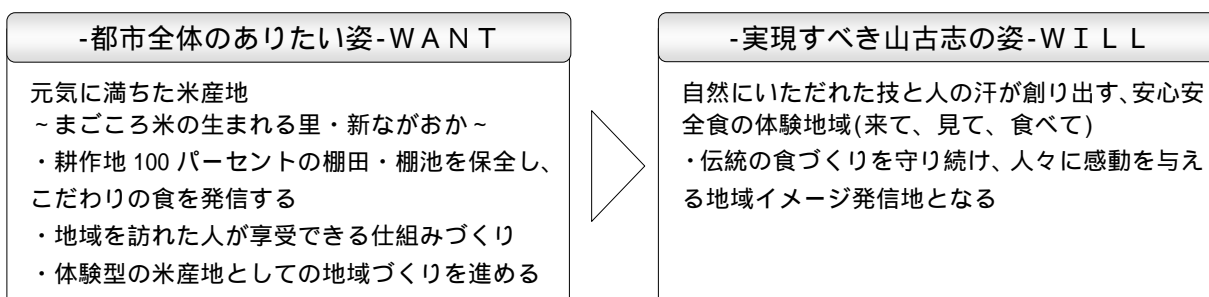
独創企業が生まれ育つ都市～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～



実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
<p>伝統の技に科学技術を付加した究極の山古志ブランドづくり</p> <p>原産地(錦鯉)で培われた、育てる・見極める技術の継承と産業化への活用</p>	<p>山古志ブランドの多様なジャンル(写真・音楽)・・・でのプロモーション展開</p> <p>自然・人間がつくってきた独創地域のものがたりづくりと、全国への発信</p>	<p>自然体験を活用した、企業人育成プログラムの開発</p>

元気に満ちた米産地～まごころ米の生まれる里・新ながおか～

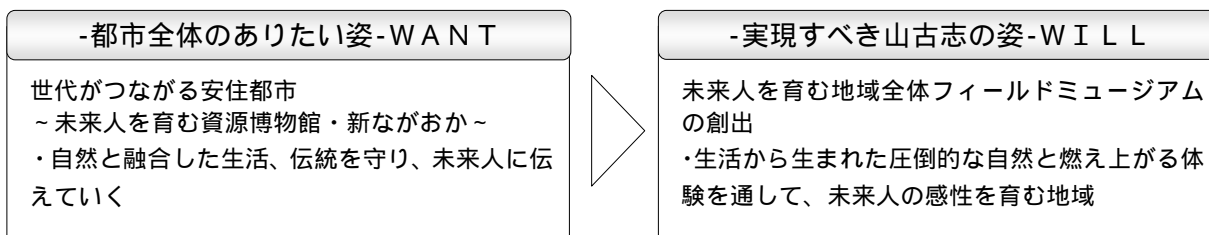


実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
<p>山古志“食”ブランドの確立によるファンの獲得と、棚田保全への展開(オーナー制度、特区制度など)</p>	<p>棚田・はざかけ等、農山村の原風景保全とPR展開</p> <p>雪中貯蔵技術の活用による、新たな魅力食の提供</p>	<p>農業体験プログラム開発と地域体制づくり</p>

山古志地域

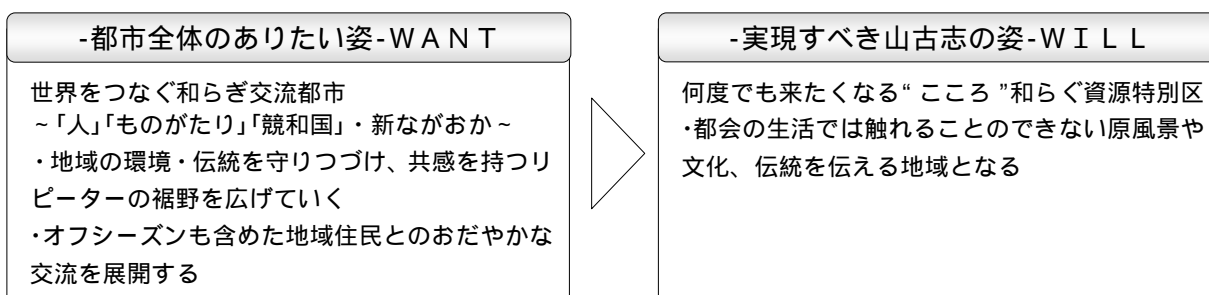
世代がつながる安住都市～未来人を育む資源博物館・新ながおか～



実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
<p>フィールドミュージアムを構成する資源、歴史、伝統を守り育てていく活動の促進</p>	<p>固有の景観や生活行事を守りつづけるネットワークづくりと発信</p>	<p>未来人の心を育てる、大人たちを含めた自然体験学習プログラムの開発</p>

世界をつなぐ和らぎ交流都市～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

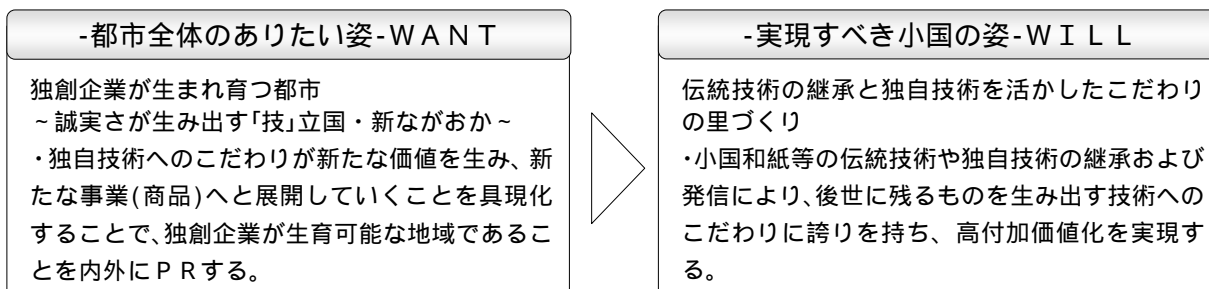


実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
<p>様々な地域資源が一体となった山村文化のブランド化 様々な分野の交流による新たな交流資源の発掘活動</p>	<p>山村・雪国生活の多角的な発信</p>	<p>人材・情報ネットワーク活用により、地域の人たちが地域資源の価値について理解を深め、来訪者に提供する「もてなしのこころ」の育成</p>

小国地域

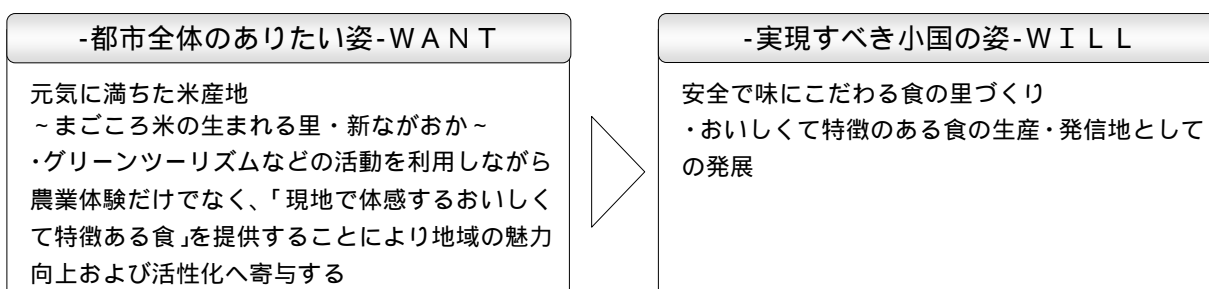
独創企業が生まれ育つ都市～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～



実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
<p>大学・研究機関との連携による、小国和紙の研究と新たな製品化への取り組み 小国和紙・ログの新たな販路開拓</p>	<p>小国和紙・ログなど、地球にやさしい技術のシンポジウムやサミットの開催 伝統技術を活用した、ものづくりに関わる一連の体験・教育プログラムづくり</p>	<p>伝統技術を継承するための人材受け入れ体制の強化 環境優先型社会を伝える、指導者の養成</p>

元気に満ちた米産地～まごころ米の生まれる里・新ながおか～

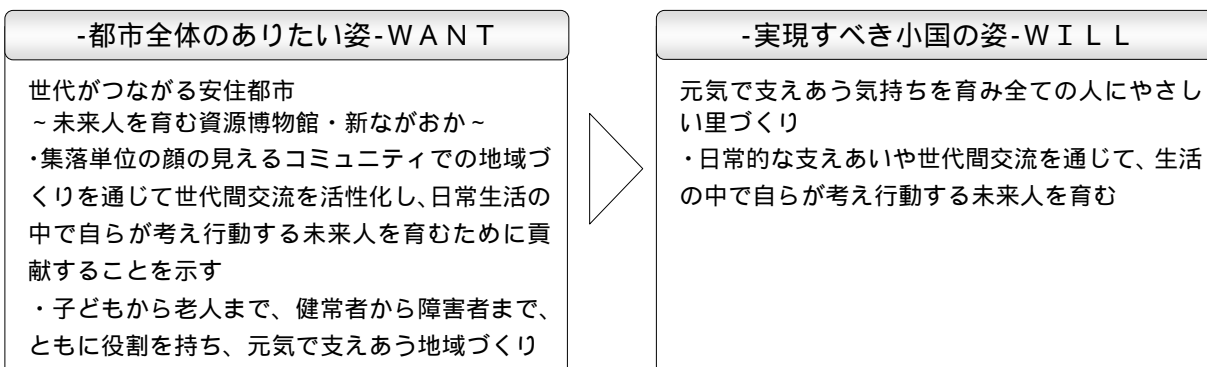


実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
<p>土づくりからはじめる安心安全なこだわり食材(米・なす・ぎんなんなど)の生産と製品開発の促進 体験型農業の推進による農村生活理解活動の推進</p>	<p>安全な食材のつくり方から食べ方までを発信する“トータル食学校”の創設 こだわりの食を体験できる「小国御膳」の開発と、もてなし体制づくり</p>	<p>安全な食を販売する人材の育成 ぎんなん生産日本一への取り組み</p>

小国地域

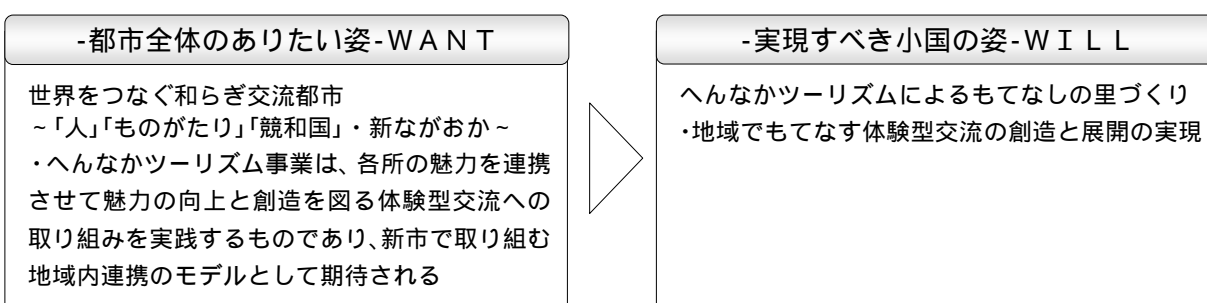
世代がつながる安住都市～未来人を育む資源博物館・新ながおか～



実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
<p>集落活動の連携による防犯体制の一層の充実 21世紀の新しい食をテーマとした健康づくりの実践</p>	<p>“健康イベント”開催による、地域の魅力をアピール 農村の良さを伝える広報・情報発信の強化</p>	<p>高齢者の経験・知識を地域コミュニティで発掘・継承する健康な里づくり 地域ボランティアの組織づくりと活動支援によるリーダー(予防医療等生活専門員)の養成</p>

世界をつなぐ和らぎ交流都市～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～



実現していくための活動・展開

見極める	発信する	育てる
<p>純農村型文化の発掘と継承 長期滞在型交流環境づくり</p>	<p>農村交流モニターの全国募集と情報発信 大学との研究交流による農村文化学習フィールドとしての地域イメージづくり</p>	<p>地域における“もてなし”の意識確立と体制づくり 本を活用した新たな都市と農村の文化交流推進</p>

(11) 新市全体での取り組み

独創企業が生まれ育つ都市～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～

見極める アイデンティティの確立・一貫性	新ながおかが誇る技と人をネットワークする匠の国を創り上げる ～地域が誇る産業と技を核として地域と人とを連携する～
-------------------------	---

新市全体で取り組む活動展開	展開例
<ul style="list-style-type: none"> ・高付加価値の新技术・新製品の開発を生む、世界に誇る産学官協働ネットワークの構築 ・ネットワーク強化等の流通革命、交通拠点創造の推進 	<ul style="list-style-type: none"> 企業を支える地域ぐるみのネットワークの構築；起業資金融資や保険制度の充実、経営技術提供等のバックアップ体制の充実 技術情報提携センターの展開 超高速情報通信網の整備による電子商取引市場の創設 新たな高速道路インターチェンジ整備による物流の強化

発信する 情報発信力強化・機会の多様化	新しいビジネスモデルで made in NAGAOKA の魅力を世界に発信する ～社会を常にリードする価値創造型製造業の育成と振興～
------------------------	---

新市全体で取り組む活動展開	展開例
<ul style="list-style-type: none"> ・世界中に made in NAGAOKA の製品価値を伝えるプロモーション活動の推進 ・海外からの技術者も快適に過ごせる情報・交流・滞在環境の整備と発信 ・伝統技術と地場産業の連携による新たな高付加価値商品の創出 ・長岡地域を代表する産業の技術資源を活用し、競争力あるコア産業とするための拠点づくり 	<ul style="list-style-type: none"> 最先端のIT技術を活用した多角的な広告宣伝活動 世界のホテル機能を活用した情報ネットワークの構築 優秀な技術者が新ながおかに集い、滞在・交流できる“技術者村”の展開 酵母技術を応用した新リサイクル技術の開発や工業製品等に関するデザイン研究機関の展開 各地域での長岡造形大学の研究開発機能の展開

育てる 人材育成・ブランド育成	市民チャレンジャーの成功と雇用を支える新たな起業促進の風をおこす ～起業やベンチャー企業育成を支援するシステムの整備・充実～
	未来のエジソンを生む人材教育・人材育成の推進 ～産業革新に貢献する人材育成を目指した教育と社会支援の実施～

新市全体で取り組む活動展開	展開例
<ul style="list-style-type: none"> ・世界の大学や企業とも連携した新産業やビジネスモデル(新たな市場づくり)の開発促進 ・新たな雇用を創出する創業環境の整備・促進 	<ul style="list-style-type: none"> ベンチャー企業と世界の大学や企業を結び付け、新産業を創造 大学の研究成果を企業に移転する機関、地域総合大学院の展開
<ul style="list-style-type: none"> ・国内外の大学との交流や留学生の受け入れ環境の整備推進 ・産業界が求める人材像(創造力、異文化理解、語学力)に即した高度教育の推進 ・義務教育時から産業界の人材による教育を行う、地域の人材を磨く仕組みづくり 	<ul style="list-style-type: none"> 社会人が国内外の大学に短期留学できる仕組みづくりと支援 理数系、語学、経営技術に特化した中高一貫校の創設、学生の海外留学支援 世界に適用するIT技術者を育てる養成学校の展開 優秀な研究者・民間人を学校教育の教員・講師に登用 企業人が再学習できる機会の提供 企業・地域が支える子どもの発明科学学習拠点への展開

元気に満ちた米産地～まごころ米の生まれる里・新ながおか～

見極める アイデンティティの確立・一貫性	「新ながおか元気印ブランド」の創造による「食の付加価値」の確立 ～地域農産物や酒、農産加工品、郷土料理を組み合わせた新ながおかメニューの開発～
-------------------------	--

新市全体で取り組む活動展開	展開例
・長岡地域の米をはじめとする農産物・農産加工物のブランド開発	なごか産コシヒカリを日本のトップブランドとする取り組み
・「人を健康で元気にする」新ながおかブランドの価値の明確化	減農薬減化学肥料栽培の全市への拡大 地元食材を活用した市民のための健康メニューの開発
・土づくりを極め、安心安全な農産物ブランドの育成	土づくりセンターの展開による土づくり活動の推進

発信する 情報発信力強化・機会の多様化	おいしさと安全・健康をキーワードとする「新ながおか料理」の発信 ～おいしさに加え、健康増進、安全・安心等の生活価値観に即したブランドを開発し、全国に向けて強く発信することによって日本の食卓を変える～
------------------------	--

新市全体で取り組む活動展開	展開例
・生産者の「心と顔」が見えるITを活用した販売手法の確立	ICタグの活用による生産履歴表示活動標準化と在庫管理・販売促進への展開
・「新ながおか名物セット」の開発や外食産業等とタイアップした普及促進	ホテル、レストラン等での新ながおかフルコースメニューの開発
・美しい農村地域の実現と地域の特産品や伝統の技を活用した究極の食開発	はざかけ米+おいしい水+酒蔵=究極の酒 あぜ道に四季折々の花が咲く農村環境

育てる 人材育成・ブランド育成	蛭が舞い、人の豊かな営みが展開する「食」「農」のユートピアを生み出す ～信濃川をはじめとする豊かな水や土壌を守り、その恵みによる米作りや新しい“食”のあり方を提案する「スローフード(風土)」の振興～
--------------------	--

新市全体で取り組む活動展開	展開例
・高付加価値型農産加工品の育成支援	バイオテクノロジーを活用した食品開発を行う研究機関の展開
・農業体験と観光産業の連携により地域内外で地産地消を促進	グリーンツーリズムを通じた新ながおかフードファンクラブの展開
・次の世代につなげる魅力ある農業を担う人材の育成と確保	農業ブランドをリードする地域の人材ネットワーク形成の支援
・地産地消や地域文化、「技」を継承し、発展させていくための活動の推進	地域の食や特産品を一同に集めた新ながおか物産館の展開 地産地消推進店の展開 新ながおかの食材で新ながおか“いち(市)”の発信
・農村文化の継承や農村の活性化	地域コミュニティの連携による農村景観の保全・継承 NPOによる古民家レストランの運営
・環境に配慮した地域循環型の生産・消費生活を促進するための技術交流と普及活動	水質保全の徹底 リサイクルの推進を図るごみ発電施設の展開 蛭が飛び交いめだかが多く棲む小川の再生

世代がつながる安住都市～未来人を育む資源博物館・新ながおか～

見極める アイデンティティの確立・一貫性	「生きる楽しみ」「育つ喜び」が実感できる生活環境の創設 ～すべての世代が住みたくなる住環境の実現～
-------------------------	--

新市全体で取り組む活動展開	展開例
<ul style="list-style-type: none"> ・自然の力、人の心などに着目した新たな予防医療の充実 ・住宅地の緑や自然環境の保護によるゆとりある住環境の奨励と支援 ・地域の豊かな暮らしのための住民満足度や達成度の評価ができるシステム整備 ・多様なライフスタイルを可能にし、人生を豊かにする暮らしづくり ・環境と共生する「ごみゼロ」社会の創出や新エネルギー活用 ・コミュニティや人の“わ”を生かした、自然環境保全、子育て支援、人材育成の構築 ・人々の生活を守る交通の安全性・快適性を追求したまちづくり 	<ul style="list-style-type: none"> △ 豊かな自然を生かした森林浴などの癒しの場の設置、市民カウンセラーの育成 △ 市民による行政顧客満足度調査の導入 市民の意見を行政に活かす100人会議 市民力による犯罪ゼロのまちへの取り組み △ 自然の中の住宅地の創造 第二の故郷づくり、週末セカンドハウス村の展開 △ 不法投棄ゼロへの取り組み 環境先進都市に向けたリサイクルの取り組み 企業の環境ISO認証所得の促進・支援 △ 身近な道路の安全性確保と歩くのが楽しい歩道の整備 花と触れ合える歩道の整備

発信する 情報発信力強化・機会の多様化	「元気に老いる」熟年力を活かしたまちづくりの推進 ～身体の健康だけでなく、精神的な活力を活かす場を創り、すべての世代が元気なまち～
	<small>みらいびと</small> 地球を想う「未来人」育成・発信地域の創出 ～子どもの力・自立した活動を地域全体で伸ばし、発信する地域づくり～

新市全体で取り組む活動展開	展開例
<ul style="list-style-type: none"> ・すべての世代が活発に交流するコミュニティや施設、まちづくりの推進 ・民間資本やNPO、ボランティアを活用した福祉の拡充 ・高齢者の持っている経験豊かな知恵を生かせる場の創出 ・子どもたちの才能を早期に見出し、地域で伸ばす仕組みづくり ・子どもの豊かな発想を社会に反映させるシステムの全国展開 	<ul style="list-style-type: none"> △ 他世代型生涯学習コミュニティ施設の展開 △ オープン型福祉施設の展開 △ 多様な分野のシルバーインストラクター登録と活用機会づくり △ 全ての子どもに興味・特性を見つける米百俵教育システムの開発 △ 全国子ども会議開催や「未来の地球人ながおか賞」などの子ども顕彰制度づくり △ 子どもの幸せと健やかな成長を願う子ども条例の制定 △ 親子で見て触れて体験する子ども体験ミュージアムの展開

育てる 人材育成・ブランド育成	「子育て・教育」の分野で日本のモデル地域となる「21世紀の米百俵プログラム」の開発・推進 ～地域の宝、子どもたちをみんなで育てるまちづくり～
--------------------	---

新市全体で取り組む活動展開	展開例
<ul style="list-style-type: none"> ・出産・育児・教育に最適な環境をつくる ・地域住民による歴史・自然・伝統文化を活かした地域学校教育のプログラム開発と実践 ・医療・福祉・育児・家事支援サービスを提供する生活関連産業の重点育成 ・日本一の通学(楽)環境の整備 	<ul style="list-style-type: none"> △ 0歳児保育の充実・待機児童ゼロの実現、新教育システムの開発 △ 自然と動物に触れ合える公園の創出 △ ITを活用した遠隔医療ネットワークシステムの導入 24時間体制の保育所や子ども専門病院、総合福祉大学の展開 △ 個人の医療情報の電子管理による終身健康管理システムの展開 △ 学校が楽しくなる芸術作品の通学路への展示や安全安心な通学路の環境整備

世界をつなぐ和らぎ交流都市～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

見極める アイデンティティの確立・一貫性	地域資源を活用した新ながおかコンベンション・シティの創設 ～地域資源・特性を活用した地域内外の交流機会の創設～
-------------------------	--

新市全体で取り組む活動展開	展開例
<ul style="list-style-type: none"> ・新ながおか交流革命の実現(先進的な都市機能エリアの創出) ・憩いの場として多彩な交流が生まれる水辺空間の創造 ・ながおかの地域コミュニティ・世界との交流によるまちづくりで、広く、豊かに人が育つ環境づくり ・歴史・まつり、人、特産品を提供する、遊び・楽しみを連動した観光ネットワーク開発 	<ul style="list-style-type: none"> 世界直結交通ネットワークづくり 国際コンベンションセンターや全天候型スポーツフィールドの展開 国際的なスポーツ大会を開催 信濃川での水上バス運行と市民が憩える新たな水辺拠点づくり 青年海外協力隊をはじめとする海外ボランティア活動への参加支援 地域神楽舞共演、新ながおか歴史ミュージカルの創作・公演

発信する 情報発信力強化・機会の多様化	すべての市民が「新ながおか親善大使」 ～地域の伝統文化、魅力をテーマとしたイベントの開発と実施～
------------------------	---

新市全体で取り組む活動展開	展開例
<ul style="list-style-type: none"> ・「酒」「花火」「食」「雪」サミットなどで「新ながおか」の魅力を発信 ・利雪・親雪で豪雪地帯を観光資源として発信 ・各地の特色あるまつりやイベントの掘り起こしと連携による独創的なまつり・イベントの開発 	<ul style="list-style-type: none"> 国際日本酒見本市の開催 ドーム型生活体験テーマパーク 新しい雪観光等のホワイトツーリズム開発 雪の芸術祭の開催 雪室による特産品開発 新ながおか花火旬間の設定による各地域の花火の競演 各地域の歴史をCGで再現し、ストーリーを発信 各地域のまつりを集結した新ながおかもつりの競演

育てる 人材育成・ブランド育成	「暮らしたい」「働きたい」「遊びたい」・・・魅力あるまちを目指す ～すべての市民が「新ながおか」に誇りを持てる都市の実現～
--------------------	--

新市全体で取り組む活動展開	展開例
<ul style="list-style-type: none"> ・各地域の自然・伝統・文化を連携した新たな観光メニューの創出 ・訪れたい地域になるための地域が一体となった魅力度の向上 ・地域の魅力を認識し、人に伝える交流人材ともてなし体制の創出 	<ul style="list-style-type: none"> 風景と音楽、自然と演劇等を組み合わせた芸術祭開催 300年後の世界遺産を目指した自然環境保護の取り組み 新市のシンボルとしての長岡駅周辺都市開発の促進「まちの案内人」の制度拡充、通訳ボランティアの育成、民拍を促進する取り組み 観光開発の仕掛け人を活用した新ながおか観光メニューや拠点開発

第2章 基本方針

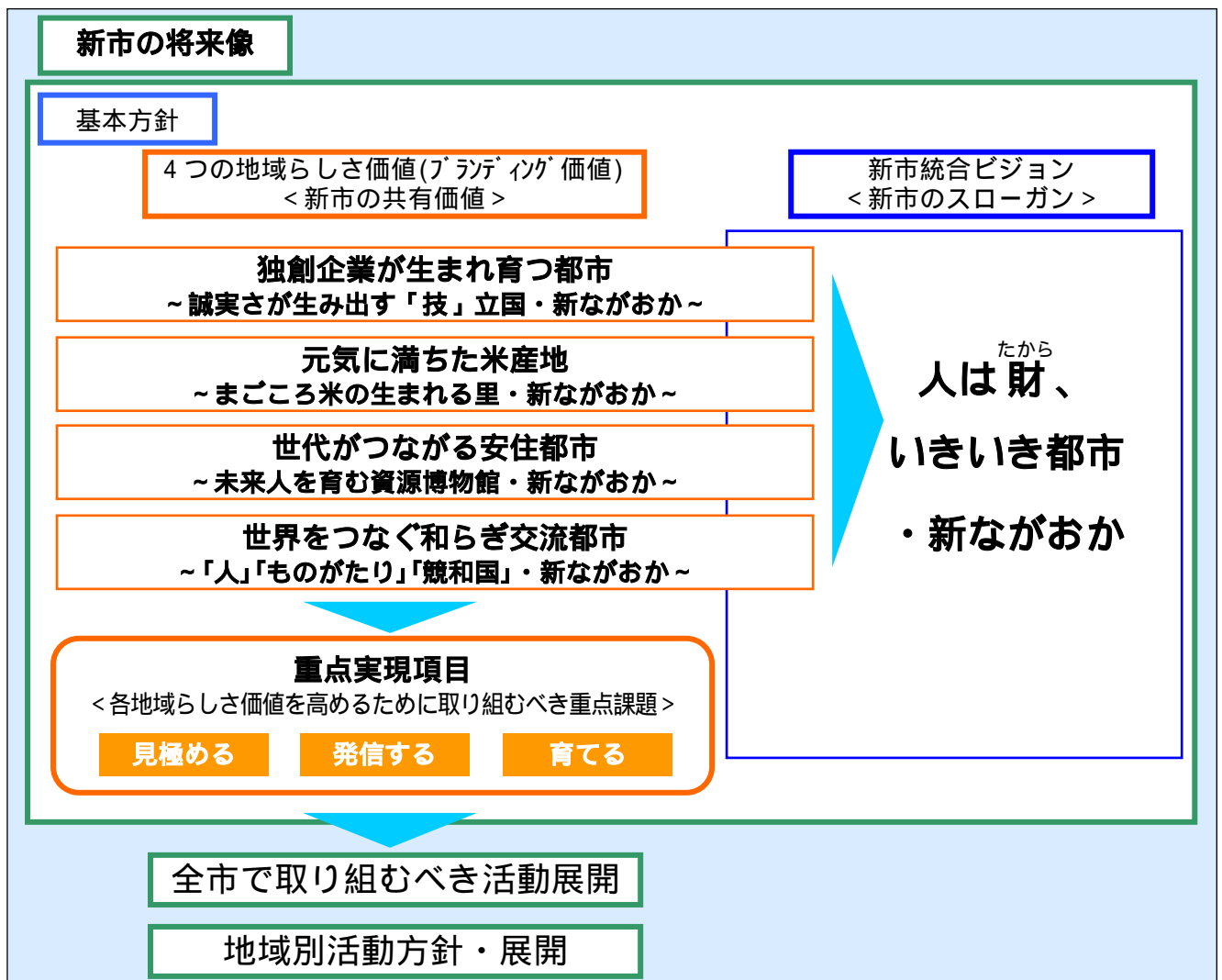
1. 新市将来像（基本方針）の考え方

長岡地域では、まちづくりの基本方針となる将来構想を策定するにあたって、住民の声と意見をアンケート、ヒアリング、ワークショップなどを通し集め、それらを参考としてではなく材料として検討してきました。この過程の中で浮かび上がってきた、新市民に共通するまちづくりの基本的な考え方、新市が目指すまちの将来像が「地域らしさ価値（ブランディング価値）」、「統合ビジョン」として集約されています。

また、「地域らしさ価値(ブランディング価値)」を高めていくために、地域・住民が取り組むべき【重点実現項目】を、“見極める”“発信する”“育てる”という視点で検討しました。

新市建設計画策定にあたっては、これらを実現していくために住民・行政が一体となって進めていく取り組み(ハード・ソフト事業)を明確にしていきます。

なお、将来構想書では、重点実現項目にもとづく<全市活動展開><地域別活動方針・展開>といった将来像を明確にしています。



以下に、新市まちづくりの基本方針となる「地域らしさ価値(ブランディング価値)」「重点実現項目」を示します。

2. 新市まちづくりの基本方針

地域らしさ価値1：独創企業が生まれ育つ都市

～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～

長岡地域の先鋭性を持った産業（高付加価値電子機械製造業、食料品製造業、醸造業など）は、「粘り強さ」「思慮深さ」の人間性と「起業の精神」や「人材」を育む伝統的な精神風土に由来する、たゆまぬ努力と果敢な挑戦の「技」から生まれている。この長岡地域らしさを市民自ら主体的な取組みでさらに発展・推進（生育）させ、価値創造型の産業地形成を図ることで、地域の自信と安定を獲得する。

<行動や姿勢>

伝統と実績に基づく、分野や規模に寄らない「価値創造型の産業地」としての長岡地域を推進・発信する。

風土や自然環境と一体化・共存化する新産業のまちづくりの姿勢を明らかにする。

新たな価値創造を促す「起業精神」と「人材」の育成を、新市地域一体で推進する。

重点実現項目

見極める	新ながおかが誇る技と人をネットワークする匠の国を創り上げる ～地域が誇る産業と技を核として地域と人とを連携する～
発信する	新しいビジネスモデルで made in NAGAOKA の魅力を世界に発信する ～社会を常にリードする価値創造型製造業の育成と振興～
育てる	市民チャレンジャーの成功と雇用を支える新たな起業促進の風をおこす ～起業やベンチャー企業育成を支援するシステムの整備・充実～
育てる	未来のエジソンを生む人材教育・人材育成の推進 ～産業革新に貢献する人材育成を目指した教育と社会支援の実施～

地域らしさ価値2：元気に満ちた米産地

～まごころ^{まい}米の生まれる里・新ながおか～

安全でおいしい米や野菜は、自然と調和した長岡地域の人々の誠実な営みの産物（まごころのこもった米など）である。

米に象徴される長岡の農産物（＝食材）は、日本人の食を支え、活動の源となってきた。

これらを生み出す自然と人間の大きいエネルギー（棚田の原風景や各種伝統芸能・祭りなども含まれる）は生産という分野に留まらず、農産物から地域文化をふまえた観光や交流へと波及し、日本人を元気にする可能性を志向する。

<行動や姿勢>

「米＝主食＝元気の源」として、新市を「日本を元気にする活力の発信地」として位置付ける。

「米＝日本の文化」として、都市が自然・文化・心を尊重した地域づくりの姿勢を明らかにする。

環境や文化的側面まで、一体化した施策推進により、米の付加価値を高め、新市産出米の競争力を強化する。

重点実現項目

見極める	「新ながおか元気印ブランド」の創造による「食の付加価値」の確立 ～地域農産物や酒、農産加工品、郷土料理を組み合わせた 新ながおかメニューの開発～
発信する	おいしさと安全・健康をキーワードとする「新ながおか料理」の発信 ～おいしさに加え、健康増進、安全・安心等の 生活価値観に即したブランドを開発し、 全国に向けて強く発信することによって日本の食卓を変える～
育てる	蛸が舞い、人の豊かな営みが展開する「食」「農」のユートピアを生み出す ～信濃川をはじめとする豊かな水や土壌を守り、 その恵みによる米作りや新しい“食”のあり方を 提案する「スローフード（風土）」の振興～

地域らしさ価値3：世代がつながる安住都市

～未来人を育む資源博物館・新ながおか～

高速交通網の整備により首都圏へは至近な時間距離にありながら、信濃川の水系と東山や西山の山地で構成される長岡地域は、利便性、機能性と同時に水や緑の資源が豊かで、健全な生活環境を身上とした都市である。この生活環境と同時に「人材育成」の環境と実績から、高齢者や子ども（未来人＝未来を生きる人）などの過去と未来の歴史をつなぐ人々にとっての「住みやすさ」「育ちやすさ」を志向することによって世代がつながる安定と安らぎ住まい都市を発信する。

<行動や姿勢>

行政・市民が一体となって子育て支援や高齢者福祉を推進し、「住みやすさの代表地域」としての新市を発信する。

生活の背景となる川や森林を守り育てることで「住みやすさ」の恒久化を図る。

子どもを育むための、様々な体験を生み出す地域資源の多様さ（資源博物館）を活用した、「自分が育つ」地域づくりを志向する。

重点実現項目

見極める	「生きる楽しみ」「育つ喜び」が実感できる生活環境の創設 ～すべての世代が住みたくなる住環境の実現～
発信する	「元気に老いる」熟年力を活かしたまちづくりの推進 ～身体のみ健康だけでなく、精神的な活力を活かす場を創り、 すべての世代が元気なまち～
発信する	地球を想う「未来人」育成・発信地域の創出 ～子どもの力・自立した活動を地域全体で伸ばし、発信する地域づくり～
育てる	「子育て・教育」の分野で日本のモデル地域となる 「21世紀の米百俵プログラム」の開発・推進 ～地域の宝、子どもたちをみんなで育てるまちづくり～

地域らしさ価値4：世界をつなぐ和らぎ交流都市

～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

長岡は古くから交通の要衝として栄え、様々な人々や物資が行き交った地である。長岡には、他地域との交流と融合の歴史がある。豊かな自然を背景にした各地の文化は独自性があり、日本各地、世界の人々をつなげる受信力と発信力を内包している。一方で長岡は戦火に遭いながらも、人の営み（ものがたり）によってつながれてきた心の歴史都市である。長岡地域が志向する交流とは単なる活況ではなく、精神文化や人間性が生み出す落ち着きや温かさのある和らぎの交流である。

<行動や姿勢>

新市各地の「技」「食」「人」を地域資源として活用・連携し、日本・世界の人や文化が交流するまちを推進する。

新市各地が、持ち味の競演を行いながら、より高水準の交流と融和の地域（競和国）を目指す姿勢を明らかにする。

重点実現項目

見極める	地域資源を活用した新ながおか コンベンション・シティの創設 ～ 地域資源・特性を活用した地域内外の交流機会の創設～
発信する	すべての市民が「新ながおか親善大使」 ～ 地域の伝統文化、魅力をテーマとしたイベントの開発と実施～
育てる	「暮らしたい」「働きたい」「遊びたい」・・・魅力あるまちを目指す ～ すべての市民が「新ながおか」に誇りを持てる都市の実現～

コンベンション・シティ：種々の会議やイベントを開催する環境を整え、それらの開催をもって地域発展の基礎としている都市

(1) 地域の夢

長岡地域

地域らしさ価値 1

独創企業が生まれ育つ都市
～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～

地域らしさ価値を高める方向性

人・モノ・情報が集積するように都市の空間、機能、仕組みを進化させていく
発想をものづくりに転換する技術、起業・創業を生み出すための市場形成など、独創企業の生育機能を強化する

実現すべき長岡の姿

整備活動方針

世界のモデルとなる独創企業

生育拠点への挑戦

・ものづくりの確かな技術と人、モノ、情報の集積を強化し、世界に広がる夢を現実に変える都市(空間、機能、仕組み)の創造

地域らしさ価値 2

元気に満ちた米産地
～まごころ米の生まれる里・新ながおか～

地域らしさ価値を高める方向性

地域の食の最前線として安全性・品質・量に関わる生産体制に裏付けられた食への誇りを持つ農産加工品の開発
地域農産物を活用した食の安定供給による市場開拓と消費の拡大
全国への情報発信など、食に関するあらゆる分野の展開を可能とする地域として、新市の食全般を支える

実現すべき長岡の姿

整備活動方針

日本の食文化の誇りを育て、伝統を活かした

「新ながおかブランド」の食の拠点として全国へ展開

・たゆまぬ研究と歴史に支えられた、生産から消費、市場拡大まで、日本を元気にする、あらゆる食の先進モデル地域としての展開を強化

地域らしさ価値 3

世代がつながる安住都市
～未来人を育む資源博物館・新ながおか～

地域らしさ価値を高める方向性

市民力によるまちづくりを促進・確立することで、市民自らまちをつくりあげる力があることを地域内外へ示す
市民自らが安住都市づくりを推進していく力を育成する
都市の斬新な空間・機能の構築により、時代の変化に対応した新たな発想・活力を創造する

実現すべき長岡の姿

整備活動方針

「市民の想いが、まちをつくる」

市民とまちが一体化する安住都市への歩み

・歴史と伝統に育まれた「市民力」を活かした、あらゆる世代の想いや願いがかなう、新しい都市・生活環境の創造

地域らしさ価値 4

世界をつなぐ和らぎ交流都市
～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

地域らしさ価値を高める方向性

国内外と地域をつなぐ交流の駅であり、各地域の交流目的を支援する機能だけでなく、もてなしによる心の交流を実践し、地域イメージの向上に寄与する
交流の結果として、国際協力・国際貢献へと発展し、世界が共感する活動を発信する地となる

実現すべき長岡の姿

整備活動方針

地域と世界を和らぎで結び、

人々の心に残る世界都市への挑戦

・世界をもてなす和らぎのこころを育み、新たな交流の価値を発信する拠点となる

中之島地域

地域らしさ価値1

独創企業が生まれ育つ都市
～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～

地域らしさ価値を高める方向性

高速交通体系に立地した流通機能を最大限に活かしながら、流通拠点として独創企業の生育を支援する

実現すべき中之島の姿

整備活動方針
**抜群の広域アクセス性・立地環境を活用した
独創企業支援地域**

・抜群の流通機能と豊かな生活環境から生まれる豊富な労働力を活かし、生育する新産業等の独創企業を支える地域づくりを行う

地域らしさ価値2

元気に満ちた米産地
～まごころ米の生まれる里・新ながおか～

地域らしさ価値を高める方向性

広域なほ場で様々な良質な農産物生産基地を発進・PR
人材力が生産の源であることを強く訴求

実現すべき中之島の姿

整備活動方針
**若く元気な住民パワーによる
安全・安心・美しい食産基地**

・地域づくりに積極的に取り組む住民力(かあちゃんパワー)による、安全・安心・新鮮な農産物の供給地域

地域らしさ価値3

世代がつながる安住都市
～未来人を育む資源博物館・新ながおか～

地域らしさ価値を高める方向性

世帯員数が多く、高齢者単身世帯が少ないことのアピール
多くのボランティアなど、地域コミュニティの中で家族の基本形をつくりつづけ、家族・地域のつながりを強くしていく

実現すべき中之島の姿

整備活動方針
**家族・地域が一体となって、
子育てを応援する安心のまち**

・家族・地域の人とのつながりを大切にしながら更なる安らぎ住まいと子どもを育む地域づくりを推進

地域らしさ価値4

世界をつなぐ和らぎ交流都市
～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

地域らしさ価値を高める方向性

地域内連携による交流促進

実現すべき中之島の姿

整備活動方針
新ながおかをつなぐ広域交流発信地域の形成

・交通利便性を活用し、他地域の観光資源との連携を図り、広域交流の一翼を担う地域づくり

越路地域

地域らしさ価値1

独創企業が生まれ育つ都市
～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～

地域らしさ価値を高める方向性

環境と共生する産業の様々なあり方の模索
エネルギー産業の立地の可能性
天然ガス自動車の普及などの社会変化

実現すべき越路の姿

整備活動方針

**豊かな自然環境がつくる21世紀の
クリーンエネルギーに育まれるまちの創造**

- ・自然環境に育まれる地場産業の振興・支援
- ・天然ガスを活用したクリーンエネルギー産業の創出・育成

地域らしさ価値2

元気に満ちた米産地
～まごころ米の生まれる里・新ながおか～

地域らしさ価値を高める方向性

うまい米づくりに向けて生産技術の更なるチャレンジング
生産者、消費者ともに元気の出る米作りの模索

実現すべき越路の姿

整備活動方針

**最新技術と確かな技が生み出す
元気のあふれる米生産・技術導入拠点の創造**

- ・安心、安全、おいしい米生産の追求に向けた新しい栽培技術導入への挑戦
- ・安心な米生産と環境一体化の模索

地域らしさ価値3

世代がつながる安住都市
～未来人を育む資源博物館・新ながおか～

地域らしさ価値を高める方向性

あらゆる人々が尊重される社会の実現による人材育成、人間教育の重要性
ノーマライゼーションの更なるチャレンジング

実現すべき越路の姿

整備活動方針

**豊かな自然環境に育まれた個性尊重による
人づくり地域の形成と発信**

- ・心豊かな子どもを育て、すべての人々が支えあう地域の創造と発信

地域らしさ価値4

世界をつなぐ和らぎ交流都市
～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

地域らしさ価値を高める方向性

他地域との連携活用と情報発信

実現すべき越路の姿

整備活動方針

自然と歴史の広域交流をつなぐ地域の形成

- ・他地域の観光資源との連携化を図り、広域交流の一翼を担う地域づくり

三島地域

<p style="text-align: center;">地域らしさ価値 1</p> <p style="text-align: center;">独創企業が生まれ育つ都市 ～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～</p> <p style="text-align: center;">▽</p> <p style="text-align: center;">地域らしさ価値を高める方向性</p> <p>地域に息づく伝統の技を核に、地域内外の人たちとのネットワーク拡大による伝統地場産業の更なる発展</p>	<p style="text-align: center;">実現すべき三島の姿</p> <p style="text-align: center;">整備活動方針 確かな伝統の技で信頼・支持される モノづくり発信地</p> <p>・ものづくりへの誠実さ、確かさ、粘り強さを維持・発信する地域となる</p>
---	---

<p style="text-align: center;">地域らしさ価値 2</p> <p style="text-align: center;">元気に満ちた米産地 ～まごころ米の生まれる里・新ながおか～</p> <p style="text-align: center;">▽</p> <p style="text-align: center;">地域らしさ価値を高める方向性</p> <p>大規模ほ場や中山間地の天水田といった多様な農環境をフルに活用し、新ながおかの農業への試みを実践していくことで、高付加価値農産物を安定供給していく</p>	<p style="text-align: center;">実現すべき三島の姿</p> <p style="text-align: center;">整備活動方針 「人と自然」の元気を活かした 環境循環型農業の拡大地域</p> <p>・高付加価値な農産物づくりを実践し、新ながおかの先進的な取り組みを広げ、産業化していく地域となる</p>
---	--

<p style="text-align: center;">地域らしさ価値 3</p> <p style="text-align: center;">世代がつながる安住都市 ～未来人を育む資源博物館・新ながおか～</p> <p style="text-align: center;">▽</p> <p style="text-align: center;">地域らしさ価値を高める方向性</p> <p>自然空間と人とのつながりを大切にす風土を活かし、住民主体のコミュニティ育成による快適・安心地域の創出</p>	<p style="text-align: center;">実現すべき三島の姿</p> <p style="text-align: center;">整備活動方針 自然空間を活かし、地域コミュニティを育む 生涯ゆとり実感都市</p> <p>・自然と人・人と人が融合し、地域力を活かしたコミュニティ育成モデル地域となる</p>
---	---

<p style="text-align: center;">地域らしさ価値 4</p> <p style="text-align: center;">世界をつなぐ和らぎ交流都市 ～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～</p> <p style="text-align: center;">▽</p> <p style="text-align: center;">地域らしさ価値を高める方向性</p> <p>体を動かし、楽しさ・明るさ・温かさを心で感じてもらう地域個性あふれるイベントを、新ながおかの交流資源に発展させ、交流による人材育成を推進する</p>	<p style="text-align: center;">実現すべき三島の姿</p> <p style="text-align: center;">整備活動方針 アイデアと人の和でつくる 新ながおかの独創イベント発信地</p> <p>・住民力を活かした交流人材育成地域となる</p>
---	---

山古志地域

地域らしさ価値 1

独創企業が生まれ育つ都市
～誠実さが生み出す「技」立国・新ながおか～

地域らしさ価値を高める方向性

固有の技や誠実さの歴史を守り、伝えていくことで地域住民のこだわりの技への取り組みを広くアピールする
独創の精神に触れる場として、また、圧倒的な自然を通して分野にこだわらない新ながおかの独創企業人の育成を支援していく

実現すべき山古志の姿

整備活動方針

自然美、人間美から生まれる究極ブランドを守り、育て、独創企業に提供していく地域

・新ながおかのものづくりに対する“独創性”を歴史・伝統で裏付け、自然環境を活用し支援する地域となる

地域らしさ価値 2

元気に満ちた米産地
～まごころ米の生まれる里・新ながおか～

地域らしさ価値を高める方向性

耕作地 100 パーセントの棚田・棚池を保全し、こだわりの食を発信する
地域を訪れた人が享受できる仕組みづくり
体験型の米産地としての地域づくりを進める

実現すべき山古志の姿

整備活動方針

自然にいただいた技と人の汗が創り出す、安心安全食の体験地域(来て、見て、食べて)

・伝統の食づくりを守り続け、人々に感動を与える地域イメージ発信地となる

地域らしさ価値 3

世代がつながる安住都市
～未来人を育む資源博物館・新ながおか～

地域らしさ価値を高める方向性

自然と融合した生活、伝統を守り、未来人に伝えていく

実現すべき山古志の姿

整備活動方針

**未来人を育む地域全体
フィールドミュージアムの創出**

・生活から生まれた圧倒的な自然と燃え上がる体験を通して、未来人の感性を育む地域

地域らしさ価値 4

世界をつなぐ和らぎ交流都市
～「人」「ものがたり」「競和国」・新ながおか～

地域らしさ価値を高める方向性

地域の環境・伝統を守りつづけ、共感を持つリピーターの裾野を広げていく
オフシーズンも含めた地域住民とのおだやかな交流を展開する

実現すべき山古志の姿

整備活動方針

**何度でも来たくなる
“こころ”和らぐ資源特別区**

・都会の生活では触れることのできない原風景や文化、伝統を伝える地域となる

小国地域

